

官報 號外

大正十一年二月十七日

金曜日

印刷局

第四十五回衆議院議事速記録第十三號

大正十一年二月十六日(木曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第十二號 大正十一年二月十六日

午後一時開議

第一 北海道會法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第二 北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 右各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第四 市制中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第六 農會法案(政府提出)

第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第八 朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第十 大學特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十一 大正八年法律第十二號中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十二 (政府提出)

第一讀會

第十三 右各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第十四 森林資金特別會計法廢止法律案(政府提出)

第一讀會

第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第十六 酒造稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十七 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十八 國有財產整理資金特別會計法案(政府提出)

第一讀會

第十九 未成年者飲酒禁止法案(根本正君外四名提出)

第一讀會

第二十 工場法中改正法律案(板野友造君提出)

第一讀會

第二十一 身元保證ニ關スル法律案(上畠益三郎君外二名提出)

第一讀會

第二十一 家產法案(上畠益三郎君提出)

第一讀會

第二十二 裁判所構成法中改正法律案(大道寺慶男君提出)

第一讀會

第二十三 民事訴訟法中改正法律案(大道寺慶男君提出)

第一讀會

第二十四 軍備縮少ニ基因シテ生スヘキ失業勞働者ノ善後ニ關スル建議案(大岡育造君外二十九名提出)

第一讀會

第二十五 電信線電話線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案(木下甚三郎君外一名提出)

第一讀會

第二十六 免因保護施設及司獄官待遇改善ニ關スル建議案(太田信治郎君提出)

第一讀會

第二十七 樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(高草美代藏君提出)

第一讀會

第二十八 樞原神宮第二回宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(八木逸郎君外五名提出)

第一讀會

第二十九 多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(前田米藏君外九名提出)

第一讀會

第三十 多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(高木正年君外五名提出)

第一讀會

第三十一 三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案(成田榮信君外五名提出)

第一讀會

第三十二 重信川改修ニ關スル建議案(成田榮信君外五名提出)

第一讀會

第三十三 米穀專賣法制定ニ關スル建議案(小菅劍之助君外一名提出)

第一讀會

第三十四 新田神社昇格及宮號復稱ニ關スル建議案(秋亮君外四名提出)

第一讀會

第三十五 決議案(中野正剛君提出)

第一讀會

○議長(與繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

和賀輕便軌道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

道路法中改正法律案

(第二號)大正十年度ノ歳入歳出總豫算追加案

(以上二月十五日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

辯護士法改正法律案

提出者 鷗澤 總明君

森田 茂君

近藤 達兒君

森下龜太郎君

(以上二月十六日提出)

理化博物館建設ニ關スル建議案

提出者 鈴木 隆君

中島 守利君

鳩山 一郎君

地方鐵道買收法制定ニ關スル建議案

提出者 中西六三郎君

本多貞次郎君

天春 文衛君

新潟築港ニ關スル建議案

提出者 丸山嵯峨一郎君

高橋金治郎君

青木恆太郎君

伊藤 虎助君

齋藤巳三郎君

牧口 義矩君

富永孝太郎君

長場龍太郎君

(以上二月十四日提出)

決議案(議長不信任ノ件)

提出者 安達 謙藏君

小泉又次郎君

小山 松壽君

決議案(稅制整理ノ件)

提出者 近藤 達兒君

林田虎之助君

砂田 重政君

渡邊 昭君

本田 恆之君

森田 茂君

田邊 熊一君

武田德三郎君

鈴木 義隆君

木村清三郎君

大竹 貫一君

阪口仁一郎君

倉石 知藏君

植竹龍三郎君

秋本 喜七君

渡邊 修君

中倉万次郎君

禱 苗代君

横山勝太郎君

清瀬 一郎君

湯淺 凡平君

(以上二月十六日提出)

議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
普通教育並中等教育ニ關スル質問主意書

提出者 野溝傳一郎君

(以上二月十五日提出)

社會主義者ト軍隊ニ關スル質問主意書

提出者 田中 武雄君

(以上二月十六日提出)

提出者ヨリ撤回セラレタル議案左ノ如シ
黑島、伊白鐵道敷設ニ關スル議案

提出者 石川 玄三君

友常穀三郎君
松岡 俊三君

農會法改正促進ニ關スル議案

提出者 中倉万次郎君

天春 文衛君
齋藤宇一郎君

成田 榮信君

荒川 五郎君

土井 權大君

西村丹治郎君
守屋松之助君

野溝傳一郎君

(以上二月十六日撤回)

議員ノ異動左ノ如シ
愛知縣第五區選出議員波多野喜右衛門君退職ニ
付其補闕トシテ加藤紋右衛門君當選セラレタリ

一 去十四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於
テ議席ヲ左ノ通變更セリ

二六 倉石 知藏君

二九 土井 權大君

三二七 福本 清之輔君

三三八 木村 三郎君

三四五 井上 剛一君

三五八 樋口 秀雄君

三五九 紫安 新九郎君

三六〇 鈴木 富士彌君

四三〇 作間 耕逸君

四三五 神谷 彌平君

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載
ス〕

一 去十四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

少年法案外一件

戸水 寛人君

望月 政友君

蓮井 藤吉君

佐藤寅太郎君

横山金太郎君

樋口 秀雄君

一 昨十五日少年法案外一件委員津原武君辭任ニ付
其ノ補闕トシテ野尻彌重郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

宮崎友太郎君
山田 永俊君
志賀和多利君
北山 一郎君
津原 武君
上島益三郎君

一 昨十五日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

少年法案外一件委員

委員長 戸水 寛人君

理事 永屋 茂君

渡邊 昭君

上島益三郎君

一 今十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第一部選出懲罰委員古賀三千人君(吉田磯吉君補
闕)

第三部選出懲罰委員横山金太郎君(鈴木富士彌君
補闕)

第六部選出懲罰委員井上剛一君(清水留三郎君補
闕)

第九部選出懲罰委員板野友造君(渡邊昭君補闕)

○議長(與繁三郎君) 會議ヲ開キマス、諮問事項アリマ
ス、第五部選出懲罰委員金澤安之助君常任委員辭任ノ
申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可
スルコトニ致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ウテ、
届出アルコトヲ望ミマス

○森田茂君 議長

○議長(與繁三郎君) 何デゴザイマス、議事進行ニ付テ
デスカ

○森田茂君 議長ノ不信任問題ヲ提出致シマス、其事ニ
付キマシテ緊急動議……

○議長(與繁三郎君) 一寸御待チ下サイ、通告ガ先キニ
アリマス——小山松壽君

○小山松壽君 極ク簡單ニ御尋シタイト思ヒマス、此
席ヨリ御許ヲ願ヒマス、一昨日ノ豫算案討論ニ際シマシ
テ、東武君ノ所論ガ偶、濱口雄幸君ノ政治的立場ニ於
キマス、其所見ニ對シ、虛構ノ放言ヲ爲シタルニ對シテ、一
身上ニ對スル辯明ノ必要アリトシテ之ヲ壇上ニ陳ブルニ當
リマシテ、議長ハ濱口君ノ辯明ハ事討論ニ涉ルモノナリト
シテ、其發言ヲ差止メラレタリ、是ガ當日議場ノ
紛議ヲ起シマシタリ、ノ發端デアリマス、而シテ此問題ハ、
政治家トシテ國家國民ノ爲ニ開陳スベキ所論ガ、偶、虛構
ノ放言ニ依テ之ヲ傷ケラレタリト云フコトハ、斷ジテ政治家
トシテ忍ブベカラザルコトデアリマス、故ニ今後ニ於キマシテ
モ、此問題ニ對シテハ十分ニ其解釋ヲ定メテ置ク必要アリ
ト考ヘルノデアリマス、而シテ議長ハ當日日本問題ニ付テハ、
東君ノ陳述ト濱口君ノ開陳ト速記録ヲ能ク調査シタニ
於テ、若シ許スベキ場合ガアルナラバ其發言ヲ許ス機會アル
ベシトノ御宣言ニナッテ居ルノデアリマス、只今申上ゲル通
リ、本問題ハ將來ニ於テモ重大ナル取扱ヲ爲スベキ前例ト

モナルベキモノデアリマス、一身上ニ關スル辯明ノ範圍
其解釋ト云フガ如キコトハ、此場合ニ於テ議長ヨリ明確ナ
ル御答辯ヲ煩ハシテ置イテ、將來ニ備ヘタイト云フ考デアリ
マス、仍テ此點ヲ御尋致シマス

○議長(與繁三郎君) 御答致シマス、議長ハ一身上ニ關
シテノ辯明ト云フハ、何レノ場合ニ於テモ、之ヲ許サレコ
トニナッテ居リマス、其方ノ持テテ居ル所論トカ議論ニ對
付テノ辯明ハ、他ノ手續ニ依ラレ、バ格別、一身上ノ辯明ト
云フ場合ニハ之ヲ差止メル考デアリマス、一寸一言シ
テ置キタイコトガゴザイマス、一昨日砂田重政君カラ、退場
ヲ命ジタル議員ニ發言ヲ許スコトハ甚ダ感心シナイガ、議長
ハ將來トモ之ヲ許ス考デアルカ、斯ノ如キ先例ヲ作ラナイ
コトヲ望ムト云フ御尋ニ對シテ、他ノ事ハ御答申上ゲマシ
タガ、此ノ一點ニ付テハ考慮ノ上御答致シタイト申シテ置
キマシタガ、考慮致シマシタ、退場ヲ命ジタル議員ニ發言ヲ
許スノハ穩當デナイ、故ニ將來ハ注意シテ許サヌ考デアリマ
ス、向ホ又斯ノ如キ先例ヲ將來ニ貽シタクナイト存ジマス

○小山松壽君 只今ノ身上ニ關スル發言ノコトニ對スル
議長ノ御答ハ、將來ニ事例ヲ貽スニ於テ甚ダ不明瞭ト
考ヘマス、私ノ御尋シタノハ、身上ニ關スル辯明ハ其範圍ヲ
之ヲ狹ク解釋スルカ、又之ヲ廣ク解釋スルカ、其廣狹何レノ
解釋ニ依ルカト云フコトハ、將來此辯明ヲスル上ニ付テモ、
其所論ヲ進ムル上ニ付テモ、重大ナル關係ガアルト云フコト
ヲ御尋シタノデアリマス、議長ノ只今ノ御辯明ハ要領
ヲ得ヌト考ヘマス、其範圍ニ關シテ再應ノ御答ヲ望ミマス
(無用々々ト呼フ者アリ)無用デハナイ

○議長(與繁三郎君) 無用デナイカドウカ分リマセヌガ答
ヘマス、先ニ御答シタ通り、其行為ニ付テ其方ノ把持ザレル
議論ニ付テハ許サヌ、是デ明瞭ニ範圍ハ定マッテ居ルト思ヒ
マス

○小山松壽君 重ネテ其辯明ヲ煩ハスコトハ如何カト思
ヒマス、只今ノ御答デハ私ハ範圍ガ明瞭ニナラヌト考ヘマ
ス、而シテ議長ハ是等ノ問題ニ對シテ、將來重大ナル先例
ヲ爲スモノデアルカラ、更ニ考慮ノ上、是等ハ各派ノ議ニ付
シテ御研究ニナル御意思ハナキカト云フコトヲ御尋シマス

○議長(與繁三郎君) 只今其所迄考ヘテ居リマセヌ——
樋口秀雄君

○樋口秀雄君 私ノハ極ク簡單デアリマス、此席カラ
申上ゲマス、曩ニ本議會ノ劈頭ニ當リマシテ、吾ハ市町
村小學校教育費國庫負擔額ノ増加ニ對スル建議案ヲ提
出致シテアリマス、爾來日ヲ經ルコト一月有半ニナリマス
ガ、未ダ上程ニナッテ居リマセヌ、其後各派カラモ同一ノ建
議案ガ出マシテ、今ヤ全院一致同意味ノ建議案ガ出テ

居リマス、然ルニ本日マア同ジク重大事項デハアリマスガ、地方問題ニ關スル建議案モ續々上程ニナル今日、多年國民ノ要望アル此重大ナル建議案ニ付テ御上程ニナラナカッタノハ、何等カ相當ノ理由アルコト、思ヒマス、其理由ヲ承リタイ理由ガナケレバ次ノ會議ニハ必ズ御上程ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ希望アリマス

○議長(奥繁三郎君) 一寸樋口君ニ御答シマスガ、議長ノ手許ニ於テハ何等理由ハゴザイマセヌ、議事課ノ方ヲ調ベマシテ、速ニ上程スルヤウニ取計ヒマス

○森田茂君 議長

○議長(奥繁三郎君) 森田茂君、アナタノハ書面ヲ以テ御出シナッテ居ル決議案デスカ

○森田茂君 詰リ議長不信任案ヲ提出シタイノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 不信任案デアリマスレバ、先例ニ依ッテ副議長ト代リマスガ、其決議案デアレバ議長ノ所見ノ當不當ヲ定メルト云フコトニナッテ居リマス

○森田茂君 私ノハ不信任案デアリマス

○議長(奥繁三郎君) 森田茂君

決議案(議長不信任ノ件)

決議案

右成規ニ據リ提出候也

大正十一年二月十六日

提出者

安達

謙藏

外四名

決議

本月十四日豫算案採決ノ場合ニ於ケル議長奥繁三郎君ノ措置ハ失當ノ甚シキモノナリト認ム

右決議ス

〔森田茂君登壇〕

○小泉又次郎君 議長

○議長(奥繁三郎君) 小泉君、今森田君ニ發言ヲ許シマシタカラ、今森田君ノ發言ニ關スルコトデスカ

○小泉又次郎君 只今森田君ノ緊急動議ノ決議案ハ、其内容ハ議長ニ對スル不信任デアル、斯様ナコトヲ明言サレテ居ル以上ハ、議長ハ甚ダ失禮デアリマス、ケレドモ、御一身上ニ關スル事デアリマス、先例ニ基イテ其席ヲ副議長ニ御譲リニナランコトヲ願フデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 實ハ議長モ其考デアリマスガ、森田君提出ノ決議案ニ對シテ日程ガ變更サレマシタラ直グ代リマス、先ツ森田君ノ趣旨ノ概要ヲ述ベラレタ際ニ、日程ヲ變更サレバ否ヤヲ諮ル考デアリマス

〔「分リマシタ」ト呼フ者アリ〕

○森田茂君 私ハ本月十四日ノ豫算案採決ノ場合ニ於キマス議長ノ處置、廣ク申シマスレバ議場ノ整理ニ關シ、又採決ノ方法ニ關シマシテ、議長ノ執リマシタル其處置ナルモノハ甚シキ違法、又甚シキ不當ナル處置デアルト云フコトノ考ノ下ヨリ、其見地ヨリ致シマシテ、議長ニ對シテ不信任ノ決議ヲ致シタイト云フ意見デアリマス、之ニ付キマシテハ多少其理由ヲ述ベナイト云フト分ラナイコトデアリマス、故ニ日程ノ變更ヲ求メル、即チ緊急動議トシテ之ヲ提出スルコトニ付キマシテ、日程ノ變更ヲ求メル爲ニ此大要ノ理由ヲ述ベテ見タイト思フデアリマス、吾マ、ガ……

○議長(奥繁三郎君) 一寸——理由ヲ述ベル際ニ、矢張議長ノ行為ニ對シテソレト御議論モ出マセウト思ヒマス、カラ、日程變更前デアリマス、此場合議長ハ副議長ト代リマス(「ヒヤ」ト呼ヒ拍手起ル)

〔奥議長議長席ヲ退キ粕谷副議長代リ著席〕

○副議長(粕谷義三君) 暫ク代リマシテ當席ニ著キマス

○森田茂君(續) 只今申シマシタ趣旨ニ依ッテ、此日程變更ヲ求メル爲ニ其提案ノ理由ノ大體ヲ説明致シテ見タイト思フデアリマス、吾マ、ガ此議長ニ對シマシテ不信任案ヲ提出致シマスル所ノ理由ハ、大要五箇ノ理由ニ之ヲ分ツコトガ出來ルノデアリマス、第一ハ本月十四日ノ豫算案採決ノ場合ニ當リマシテ、此採決ニ付テ違法ガアル、ソレカラ第二ハ國務大臣高橋是清君ノ意思表明ニ對シマシテ、議員川崎克君ガ發言ヲ求メマシテ、議長ハ之ヲ是認シナガラ、之ニ對シマシテ發言ノ機會ヲ與ヘズニ終ラント云フコトガ第二ノ理由、第三ガ當日ニ於キマシテ懲罰ノ濫用アリシコト、第四ガ當日議長ガ偏頗ノ事多カリシコト、第五ガ議場ノ整理ノ能力及議長ノ混亂ノ責任ニ關シマシテ議長ノ處置、其信任ノ無イト云フコトヲ私共考ヘル次第デアリマス、第一ノ此表決ニ付キマシテ違法アリト云フノハ、如何ナル點ニ於テ言フコト申シマスレバ、凡ソ此表決ト云フコトニ關シマシテハ、議院法ノ定メル所ニ依リマシテモ、又規則ノ定メル所ニ於キマシテモ、是ハ最も公平ニ、又最も其嚴肅ニ行ハレザルベカラザルコトハ、是ハ論ヲ俟タザル事デアリマス、殊ニ此十四日ノ豫算案ノ如キモノハ、十四億圓ノ突破致シマスル所ノ大豫算ヲ、之ヲ審議採決スルノ場合デアリマス、カラ、一層ノ注意ヲ要スベキ事ナルニ拘ラズ、議長ハ之ガ表決ニ際シマシテ、先ツ記名投票ニ依ルコトヲ議場ニ宣告ヲ致シマシタコトハ、是ハ何人モ爭ヒノ無イ所デアリマス、サウシテ書記官ハ既ニ氏名ヲ點呼致シマシテ、私ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、無所屬ノ國民黨、庚申俱樂部ヲ經過シ、政友會ノ議員諸君ガ數名投票サレ、尙ホ此投票ノ進行中ニ當リマシテ、議長ハ何ヲ考ヘテレマシタカ、突如ト致シマシテ前宣言ヲ取消シ、サウシテ起立ニ依ッテ之ヲ表決シタイ

ト云フコトヲ滿場ニ諮ラコトモ、是亦爭ヒノ無イ點デアルノデアリマス、議長ガ之ヲ院議ニ諮リマシタル場合ニ於テ、賛成ト云フ聲モ起リ、又反對ト云フ聲モ起ラコトモ明ニ速記録ニ依ッテ證明スル所ノ事實デアリマス、是ニ於テ其注意セザルベカラザル問題ハ何デアルカト申シマスレバ、議長ガ前宣言ヲ取消シタコト云フ事ト、サウシテ起立表決ヲ院議ニ諮ラタト云フ事デアリマス、是ニ至ッテ私ハ申シマスル違法ト云フコトガ出テ來ルノデアリマス、其違法ハドウ云フ點デアアルコト申シマスル、之ヲ既ニ院議ニ諮ラコト云フコトヲ宣言致シ、之ニ對シテ反對或ハ賛成ト云フ聲ノ起タル以上ハ、議長ハ此起立表決ヲ可トスルカ、或ハ否トスルカト云フコトヲ院議ニ諮ラナケレバナラヌ、即チ其表決ヲシナケレバナラヌノデアリマス(拍手)所ガ此表決ヲ爲サナイト云フコトガ即チ違法ノ第一デアリマス、而シテ又議長ハ、最初ニ記名投票ノ宣言ヲバ之ヲ明白ニ取消スト云フコトヲ茲ニ言ハレテ居ルニ拘ラズ、三番目ニ之ニ逆轉致シマシテ、然ラバ宣言通り記名投票ニ依ッテ決シマス、斯ウ云フ事ヲ言ッテ居ル、既ニ取消サレタル所ノ宣言ヲ前宣言通りニ之ニ依ッテ決シマスルト云フコトハ、是レ何事デアアルカ、總テ規則上、法律上意義ヲ爲サザル所ノ是ハ宣言デアルト云フコトヲ考ヘマス(拍手)即チ之ガ第二ノ違法デアリマス、サウシテ最初ニ記名投票ト云フコトヲ改メズシテ、更ニ二重二重氏名點呼ヲ爲シ、又投票ヲ爲シタコト云フ、即チ二重ノ投票ヲ爲シタル部分ガ茲ニアルノデアリマス、又二重氏名點呼ヲ爲シタル事、事實ガアリマス、斯ノ如キ事ハ違法ノ第三ト致シマシテ當然ノ事デアラウト私ハ考ヘマス、ソレカラ第四ノ違法ト申シマスルハ、此最後ニ至リマシテ、豫算案ニ對シマスル大口、早速此兩君ノ動議ガ表決セル、事ト相成ッテ、サウシテ、其氏名點呼ヲ終ッテ後ニ於キマシテ、尙且ツ國民黨ノ如キ、又我が憲政會ノ如キモノハ、議長ガ何ヲ問題ト致シテ茲ニ表決ヲ致シテ居ルカト云フコトガ分ラナカッタデアリマス、ソレ故ニ國民黨ノ大口君ヨリ致シマシテ、議長ハ何ヲ御宣言ニナリ、何ヲ御表決ニナッテ居ルカト云フ數回ノ問答ヲ重ネマシタ結果、漸クニシテ早速、大口、兩君ノ動議ガ茲ニ表決ノ問題トナッテ居ルト云フコトガ明ニナッテデアリマス、是ニ於テ國民黨ノ近藤達見君ハ、議長ハ再三ノ御宣告ヲ爲サシマスガ、名前ヲ呼ビマセヌカラ、投票ガ出來マセヌカラ、洵ニ御手數デアリマス、ガ、モウ一遍名前ヲ呼直シテ戴キタイト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、是ハ當然ノ事デアリマシテ、議長ノ宣告ナルモノガ議場ニ徹シナイ、再ビ之ヲ尋ネマシテ氏名點呼ノ終ッタル後ニ於キマシテ、斯ノ如キ問題デアルト云フコトノ釋明ヲ致シタル場合ニ於テハ、尠クモ分ラザル議員ニ對シテハ、氏名ヲ呼上ゲテ再ビ點呼ヲ爲スカ、更ニ投票ヲ仕直スカト云フ茲ニ手續ヲ執ラナケレバイケナイト云フコト

ハ當然ノ順序デアルト私ハ考ヘマス、何事ノ議長ハ之ニ對シテ、投票漏ハアラヌカト云フ宣言ノ下ニ於テ、サウシテ國民黨ノ諸君ヲシテ更ニ投票漏ト云フ叛ニ依リテ投票セシメタルコトハ、是レ違法ノ甚シキモノデアラウト、私ハ考ヘル次第デアリマス(拍手)斯ノ如ク大要四點ノ違法ヲ算ヘルコトが出来ルデアリマス、此意味カラ申シマスレバ、此採決ナルモノハ當然無効トナラナクハナラヌモノト私ハ考ヘル(拍手)「ノウ」(無効デアアル)「ノウ」(無効デアアル)云フコトヲ考ヘマシタカラ、吾ニ於テハ此投票ヲ爲サナカッタデアリマス、吾ニハ徒ニ採決ノ方法或ハ採決ノ權利ヲ拋棄スルト云フコトハシナイ、不法ナル採決ノ方法デアリマスルカラ、之ガ採決ニ加ハルコトヲ屑シトシナイ、假令加ハリマシテモ是ハ無効トナルト云フ考ノ下ニ、之ニ加ハラナカッタデアリマス(拍手)是レ議長ノ表決ニ關スル所ノ違法ニ非ズシテ何ゾ、是ガ即チ第一ノ理由デアリマス、第二ノ理由ト致シマシテハ、動議ノ成立致シマシタル場合ニ於テ、即チ討論終結ノ動議ガ成立致シマシタル場合ニ於テ、國務大臣ガ意思表明ノ爲ニ發言ヲ求メ、而シテ之ガ許サレタ、之ニ對シテ川崎君トノ間ニ於テ意見ノ相違ガ出来テ來タデアアル、即チ私共ハ其當時聽キ居ル所ニ依リマスル、川崎君ハ十一年度ノ歲計歳入ノ合計ガ、十二億四千四百萬圓デアアル、十年度ハ十二億五千四百萬圓程デアアル、概算一千萬圓程ノ減收デアアルト云フコトヲ主張サレ、國務大臣ハ之ニ對シテ三千三百萬圓ノ增收デアアルト云フコトヲ言ハレタ、是ハ不都合デアアルト云フコトヲ豫算會議以後ニ於テ引續キ主張サレテ居ルコトハ、是亦速記ニ依リテ明ナル所デアリマス、然ルニ國務大臣ハ當席ニ於キマシテ、漸次ソレハ所得稅ヲ除外スレバ三千萬圓ノ增收ニナルト云フコトヲ言ハレタ、所ガ川崎君ノ意見トシテ、所得稅ヲ除外スレバ三千萬圓トコロデナイ、五千四百萬圓以上ノ增收ニナルト云フ、豫算ノ數字ノ上ニ於キマシテ重要ナル問題トシテ川崎君ガ再質問ヲ試ミントシタコトモ、諸君御承知ノ通りデアリマス、而シテ議長モ之ヲ是認シテ居ラレト云フコトハ爭ノナイ事實デアリマス、川崎君ガ初カラ發言ヲ求メ、又後ニ發言セントスル場合ニ於テ、議事進行ニ關シマシテ國民黨ノ砂田君、又私ヨリ申出ガアリマス、議事進行ノ事ト此事トガ競合致シタル爲ニ、砂田君ト私ガ於テ川崎君ヨリ先キ發言ヲ致シタル順序デアリマス、其後ニ於テ川崎君ガ連呼致シタル議長ヲ呼ビマシタケレドモ、總て是ガ發言ノ機會ヲ與ヘラレナカッタ云フコトハ、其取扱ノ不當ナルコトハ洵ニ何人ニ於キマシテモ異論ノナイ點デアラウト考ヘマス(拍手)之ガ即チ第二點ニナルノデアリマス、ソレカラ第三ハ懲罰權ノ濫用ト云フコトデアリマス、十四日ノ採決ニ當リマシタル大分混亂ヲ來タシ、濱口君ノ發言ヲ禁止致シマシタル爲ニ餘程甚

ニ混亂ヲ致シタ、此場合ニ於キマシテ憲政會ノ三木、中野、木槍、此三君ハ御承知デモアリマスル通り、院內幹事ト致シマシテ、書記官長席若クハ議長席ノ傍ニ迄往タト云フコトハ爭ヒノナイ事實デアリマス、元來院內幹事ノ機能ト致シマシテ、書記官長席若クハ議長席ニ參リマシテ、種々ノ交渉ヲ爲スト云フコトハ今迄ノ慣例ニ於テ認メラレテ居ル所デアリマス、之ヲ否認スルト云フコトニナリマスレバ、總て院內役員ノ機能ナルモノハ、減殺サレテ譯ニナシマフデアリマス(拍手)右ノ理由ニ依リマシテ、三君ガ議長席ノ近クニ在リマスル場合ニ於テ、議長ハ矢庭ニ之ヲ御下リナサイト言フ、是レ何タル暴言デアリマスルカ、院內幹事ニ對シマシテ斯ノ如キ事ヲ申シマスルハ、是ハ實ニ私ハ違法ノ甚シキモノデアルト思フ、而シテ退場ヲ命ズル——矢庭早ニ退場ヲ命ズルト云フコトハ是亦甚シキ違法デアルト私ハ考ヘル(拍手)斯ノ如キ事ハ即チ議院法ノ精神、或ハ衆議院規則ノ精神ヲ無視シタルモノデアルト私ハ考ヘル(拍手)都下ニ於キマスル所ノ新聞紙ハ如何ニ言ウテ居ル(笑聲)三木或ハ中野、サウシテ木槍此等ノ諸君ニ對シマシテ、來ルベキ普通選舉ニ於テ甚シキ恐ヲ懷イテ、當日ノ會議ニ列席セシメザル爲ニ、斯ノ如ク準備行爲トシテ爲シタルモノデアルト云フコトハ、何レノ新聞ニ於テモ之ヲ謳ウテ居ルデアリマセカ、殊ニ與議長ガ懲罰ノ濫用ト云フ事ニ至リマシテハ、是ハ爭フベカラザル事實ガアル(「ノウ」)「ノウ」デアナイ、現ニ此處居ラレマスル所ノ大國議長、隨分辣腕ト致シマシテ取扱ハレタコトデアリマス、大國議長ノ時代ニ於テハ大國議長カラ何等自ラ求メテ懲罰委員ニ附シタルコトハ一件モナイ、所ガ與議長ガ就職致シマシテカラ、今日マデニ殆ド七八件以上ノ懲罰事案ヲ起シテ居ルデアリマス(拍手)是ハ院議ニ於テ斯ノ如キ事ヲ爲シタモノデアリマス(拍手)議長ガ自ラ進ツデ之ヲ求メテ居ルコト云フニ至リマシテハ、(笑聲起ル)此一事ヲ以テマシテモ、議長ガ懲罰權ヲ濫用致シテ居ルコト云フコトヲ私ハ考ヘル(「ノウ」)「拍手」斯ノ如キ濫行斯ノ如キ濫行ガ懲罰事件ノ濫用ニテラズシテ何デアアル(拍手)吾ニカスノ如キ議長ノ下ニ於テ、議會政治ノ下ニ於テ是如クタルコトヲ得ルカ否カト云フコトニ至リマシテハ、多クノ言ヲ要セヌコト、信ジマス(拍手)第四ハ議長偏頗ノ處置、是ハ何デアアルカト申シマスレバ、斯ノ如キ懲罰權ヲ能ク行使スル議長ガ、十四日ノ議場ノ光景ハ御同前ノ見タル通りデアリマシテ、後ニ至リマシテハ政友會ノ諸君モ甚シク議長席ニ、或ハ演壇ノ所ニ殺到シ來タト云フコトハ事實デアアル之ニ對シマシテ議長ガ何等ノ處置モ執テ居ナイト云フコトモ明ナルコトデアリマス

(此時發言スル者多シ)

○副議長(柏谷義三君) 靜ニ……

○森田茂君(續) 現ニ西川嘉門君ハ此演壇ニ於キマシテ、三木武吉君ヲ毆打致シタデアリマス

(拍手スル者、發言スル者アリ)

○副議長(柏谷義三君) 靜ニ……

○森田茂君(續) 之ニ對シマシテ、議長ハ何等ノ處置ヲ執ラナイ、又黑住成章君ハ此議場ノ右側ニ於キマシテ、中野實吉君ヲ氣絶セシメタ事實ガアル(「ノウ」)「拍手」笑聲起ル)笑ヒ事デハナイ、山口某ハ中野實吉君ノ胸倉ヲ取ツテ、之ヲ押除ケヤウト致シタデアアル、斯ノ如キ蠻行ニ對シマシテ、議長ハ目ノ當リ之ヲ見テ居ルニ拘ラズ、何等適當ノ處置ヲ執テ居ラヌト云フコトハ、是レ偏頗ニ非ズシテ何ゾ、既ニ今日ノ如ク議員ガ言論ヲ離レテ直接行動ヲ執リ、彼ノ柔道何段ト云フヤウナコトヲ以テ却テ得タトスルヤウナ時代ガ參リマシテハ、吾ニ此議會政治ノ將來ト云フコトニ付キマシテモ、甚シク憂慮ヲ懷カナケレバナラヌト思フデアリマス、然ルニ議長ノ處置ハドウカト申シマスレバ、斯ノ如ク全ク不當ナル偏頗ノ處置ヲ執ッタト云フコトハ爭フベカラザル事實デアアル(拍手)事實ハ爭フベカラザル餘地ガナイ、第五ハ議場整理ノ能力、議長ハ議場整理ノ能力ヲ缺イテ居ルモノデアルト考ヘル、濱口君ノ演說ヲ中止セシメタコトガ即チ既ニ議長ノ偏見デアアル、之ガ即チ原因トナリマシテ議場ガ混亂ニ陥ッタニ拘ラズ、議長ハ之ニ對シテ何等適當ノ處置ヲ執テ居ル整理ヲ爲スコトガ出来ナカッタコトモ事實デアアル、今迄ナイ所ノ蠻行ヲ來シテ、議員ノ或者ハ鐵拳ヲ、以テ他人ヲ毆リ、又人ヲシテ氣絶セシムルト云フヤウナ蠻行ヲ致シテ居ルデアアル、今迄ノ議會ニ於キマシテハ、世間ガ評シテ或ハ車夫馬丁ノ寄合ヨリモ云々ト云フコトヲ言フ。居ル、斯ノ如キ蠻行ヲ敢テ致シマシテ、直接行動ヲ執ルト云フコトニ至リマシテハ、將來ノ此議場ハ或ハ大殺シ、半殺シト云フヤウナ言ヲ以テ評セラル、ヤウナコトニナリハセヌカト云フコトヲ私ハ憂フル、斯ノ如クナリマシタナラバ、我が帝國議會ノ面目ナルモノモ全ク無イと思フ、然ルニ斯ノ如ク議長ガ整理ノ能力ヲ缺キ、議場ニ於テ暴力蠻行ヲ敢テセシメテ、尙且之ニ對シテ相當ナル處置ヲ執ラナイト云フニ至リマシテハ、私ハ此議長ノ下ニ是如クシテ居ルコトガ出来ナイモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ決シテ過言デナイと思フ、以上申シマシタル五箇ノ理由ニ依リマシテ、私共ハ茲ニ議長不信任案ヲ提出スルニ至リタデアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ此緊急動議ヲ容レラレマシテ、日程ノ變更ニ御同意アラシコトヲ切ニ希望スルデアリマス、諸君ノ御賛成ヲ求メマス(拍手發言スル者多シ)

○副議長(柏谷義三君) 靜ニ——只今森田君ニ依ッテ説

明セラレマシタ、安達君外四名ノ御提出ニナリマシタ決議案ハ、只今ノ森田君ノ説明ヲ承リマシテモ、全然議長ノ不信任案アリマス、議長ノ不信任案ハ先例ニ依リマシテモ、日程ノ變更ヲ要シナイノデアリマス、故ニ此案ハ別段日程變更ノ手數ヲ取リマセズ、直ニ之ヲ議題トシテ而シテ、只今ノ森田君ノ説明ヲ以テ趣旨辯明ニ代ヘタラ如何デマリマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 左様御承知ヲ願ヒマス、ソレデハ本案ハ議題トナリマシタ、質疑ノ通告ガアリマス、西村丹治郎君

〔登壇〕「登壇」ト呼フ者アリ

○西村丹治郎君 簡單デスカラ此席カラ申上ゲマス——私ハ提案者ニ對シテ御尋ネ致シタイコトガアリマス、私共モ去十四日ノ豫算會議ニ於ケル議長ノ處置ニ付テハ、頗ル遺憾ノ感ズル者デアリマス、併ナガラ只今森田君ノ述ベラレマシタ如ク、當日ノ豫算案ハ其決議無効ナリトモ信ズル者デハアリマセズ、確ニ有效ナリトモハ信ジテ居リマス(拍手)又當日ノ議長ノ處置ニ付テハ頗ル遺憾ト感ジマス(拍手)モ、其進退ニマデ論及スルノハ如何カト考ヘルノデアリマス(拍手)只今森田君ヨリ提出サレタル決議案ノ本文ト、又只今森田君ノ御説明ニナツタ所トハ餘程ノ距離ガアルト思フノデアリマス(拍手)此決議案ニ於キマシテハ注意ヲ喚起スルノ決議トモ、警告ノ決議トモ見エマス、然ルニ只今ノ御説明ニ依ルト全然議長ノ不信任案デアアル、斯ウ云フ事ヲ申サレタノデアリマス、故ニ私共ハ此決議案自體ト只今ノ御説明トノ間ニ大變距離ガアリマスカラ、此性質ヲ明白ニ提案者ニ質シテ置キタイと思ヒマス、即チ本決議案ハ全ク議長ノ不信任ヲ表明セラル、モノデアアルヤ否ヤ更ニ提案者ニ質シタイノデアリマス

○森田茂君 是ハ最初ニ發言ヲ求メマスル場合ニ於テモ、明ニ議長ノ不信任案デアアル、斯ウ云フ事ヲ申上ゲマスルシ、又只今私が演壇ニ立ツタ劈頭ニ於テモ、其事ヲ申上ゲテ居リマス、尙ホ説明ノ中ニ於キマシテモ、明ニ議長ノ不信任案デアアルト云フコトヲ表明シテ居ルノデアリマス、唯此決議案ノ中ニ於キマシテ、或ハ文字ニ拘泥スルト云フト、モウ一步手緩イデハナキカト云フ御非難ガアルカモ知レマセズ、私共ノ考デハ是レ以上言ハナクとも、議長ノ不信任ナルモノハ十分此決議ノ文句ニ依ッテ表明セラルベキモノデアラウト信ジマスドウカ左様御諒解ノ上デ御賛成アラムコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(粕谷義三君) 是ヨリ討論ニ入リマス、通告ニ依ッテ發言ヲ許可致シマス、森田總明君

〔森田總明君登壇〕

○森田總明君 帝國議會ニ於テ議長ノ不信任ト云フコトハ、容易ナラザル次第デアルト存ズルノデアリマス、ソレ故ニ苟モ吾々ノ選舉致シマシタ議長ヲ信任セズト云フ議ヲ爲ス場合ニ當リマシテハ、十分ナル理由ヲ具ヘマシテ、議會ノ全體ガ之ヲ容ル、ト云フガ如キニラズン容易ニ出スベキモノデナイト考ヘルノデアリマス(拍手)然ルニ憲政會ノ諸君ガ御出シニナリマシテ、只今森田君ノ説明スル所ニ依リマスレバ、決議案ノ文章ニハ西村君ノ御質疑ノアリマシタヤウニ、唯議長ノ措置ガ失當デアアル、斯ウ云フニ過ギナイノニ拘ラズ、茲ニ森田君ノ述ベラレマシタ所ハ不信任デアルト云フノデゴザイマス、併ナガラ其不信任トシテ列舉致シマスル所ハ、何レモ議長ノ權限内ニ於ケル其意見ニ對スル反對ト過ギナイノデアアル(拍手)起リ又「ノウ」ト呼フ者アリ凡ソ衆議院ノ規則ニ於テモ、議院法ニ於テモ、議長トシテノ職責ヲ行ハシメマス以上ハ、議長ニ對シテ相當ノ權限ヲ與ヘテ居ランケレバナラズノデアリマス、而シテ議院整理ノ如キモノハ、議長一人ニ依ッテノ出來ルモノデナイト(ヒヤ)「拍手」我ガ帝國議會開始マツテ以來幾多ノ人格者幾多ノ議長ガ現レテ居ルノデアリマス、是等ノ人ガ假令議長ノ席ニ立チマシテモ、場合ニ依リマスルト云フト、多少議長ノ騷擾ヲ來スコトガアルノデアアル、是ハ直ニ議長其人ニ責任ガ無い、或ハ議長其人ガ不公平デアルトハ斷ジ得ラナイノデアリマス、森田君ノ述ベラレテ居ル所ノ此五箇ノ理由、理由五ツ述ベラレル所ハ大變色ト缺點ガアルヤウデアリマスルガ、凡ソ不信任ノ如キモノハ、コンナバラ彈ヲ五ツ並ベバ、唯一箇條ヲ以テ事足ルノデアリマス(ヒヤ)「拍手」然ルニ此第一ヨリ第五マデニ述ベラレテ居ル所ノモノハ、何レモ議長ガ其職務ヲ行フニ當リマシテ、議長ノ職權ノ解釋ニ對スル反對ト過ギナイノデアアル、斯ノ如キ場合ハ幾ラモ有り得ベキ事デアリマシテ、殊ニ豫算案ノ如キ、各派共ニ力ヲ盡シ、國家ノ豫算ニ對シテ森田君ノ言ハル、ヤウニ十四億以上ノ此大問題ヲ決議スル場合ニ當リマシテハ、相當ニ議員諸君ニ於テモ興奮セラル、ト云フコトハ是ハ當然ノ話デアアル、此場合ニ於テ議長整理ヲ行フコトニ於テハ、議長ガ餘程注意ヲ致シマシテモ、尙ホ反對セラル、所ノ諸君、賛成セラル、所ノ諸君カラ見て、不満足ノ點ノアルコトハ是ハ免レ得難イ所デアリマス、ソコデ吾々ハ假ニ當局ノ議長ノ措置ニ於テ不満足ノ點ガアルト觀マシテモ、是ハ議長ノ公平ナル所、議長ノ善意ノ所カラ出タル不満足デゴザイマシテ(ノウ)之ヲ以テ到底議長ノ不信任ノ材料トスルニ足ラナイト信ズルノデアリマス(拍手)吾々ハ此大綱ヲ取ツテ未ダ議長ヲ信任スベカラザルモノトハ認メナイノデアリマス、議長ヲ信任スル以上ハ、森田君ノ此巨細ノ小サイ事柄ニ對シテ敢テ反

駁ヲ加フル必要ヲ認メナイノデアリマス、即チ此意味ヲ以テ此案ニ反對致シマス

○副議長(粕谷義三君) 小泉又次郎君

○小泉又次郎君 森田君ノ提出シマシタル決議案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、只今此決議案ニ反對ヲ致サレマシタ森田君ノ御説明ノ前提ト致シマシテ、議長ハ一黨一派ノ議長デナイト云フ事ハ其通りデアリマス、吾々ガ推薦致シタル議長ヲ吾々ガ之ヲ擁護セバナラズト云フ事モ當然ノ歸結デアアルノデアリマス、此議長ノ不信任案ハ最モ意義ノアル、最モ重大ナル問題デナケレバ、容易ニ此ノ不信任案ヲ出スベキモノデナイト云フ事モ當然デアアルノデアリマス(拍手)併ナガラ森田君ノ全會一致ノ不信任案ニ非ザレバ出スコトガ出來ナイト云フヤウナ御議論ニハ、賛成ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス、政友會ノ諸君ハ嘗テ少數黨デアリシ時代ニ於テ、島田三郎君ガ議長ノ時代ニハドウ云フ不信任案ヲ出シタノデアリマスルカ(拍手)此政友會カラ出シタル不信任案ハ一トシテ通過シタ例シガアルノデアリマス、何レモ是ハ少數デ破レタデアリマセヌカ、此議論上カラ申シマスレバ、森田君ガ少クとも全會一致ニ非ザレバ不信任案ヲ出ス事ガ出來ナイト云フ議論ハ出來ナイノデアリマス(拍手)吾々ハ平素與議長ガ公平ニシテ、而モ職務ニ忠實ニ御盡シ下サル事ニ付テハ、平素敬意ヲ表シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此公平ニシテ而モ職務ニ忠實ナル議長ヲシテ、或ル輩カラシテ不公平ヲセシムルモノハ誰デアアルカト云フ事ハ——何處ニ在ルノデアアルカ(拍手)遺憾ナガラ吾々ハ此公平ヲ主トスル議長デアリマス、横暴ナル多數ノ向背ニ左右セラル、議長ノ不信任ヲ提議スルモノデアアル(拍手)十四日ノ出來事ハ此議長ノ騷擾ヲ招イタ事ハ御同様痛惜ニ堪ヘナイノデアリマス、御同様是ハ痛歎ノ至リデアアルノデアリマス、議場ノ騷擾ハ畢竟其動機ハ種々ナル動機ガアルデアリマセウ、如何ナル動機デ議長ガ騷擾ヲ來スカト云フコトハ、私ハ議論ノ必要ハナイト思フ、但シ議長ノ騷擾ニ對シテハ之ヲ整理シテ、之ヲ處理スルコトハ是ハ議長ノ當然ノ職務デアリ、隨テ是ハ責任デナケレバナラズノデアリマス(拍手)騷擾ノ原因ガ何レニアルニ拘ラズ、一タビ此議長ガ騷擾ヲシタ、此整理ノ任ニ努メルコトガ出來ナイト云フトキニハ、議長ノ其職務ヲ糾サナケレバナラズト云フコトハ、當然吾々ノ權利デアアルノデアリマス(拍手)只今森田君ハ森田君ノ五箇ノ材料ニ對シテ甚ダ無禮ナル(バラ彈ト呼フ者アリ)バラ彈トハ何事デアアル、森田君ノ此五箇ノ根據ガバラ彈デアルトスレバ、森田君ノハ空砲デアルト云フテ差支ナイ(拍手)議長ガ採決スル能力ヲ缺イタト云フコトハ、森田君ノ説明ニ依ッテ明カデアアルノデアリマス、私ハ茲ニ

駁ヲ加フル必要ヲ認メナイノデアリマス、即チ此意味ヲ以テ此案ニ反對致シマス

○副議長(粕谷義三君) 小泉又次郎君

○小泉又次郎君 森田君ノ提出シマシタル決議案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、只今此決議案ニ反對ヲ致サレマシタ森田君ノ御説明ノ前提ト致シマシテ、議長ハ一黨一派ノ議長デナイト云フ事ハ其通りデアリマス、吾々ガ推薦致シタル議長ヲ吾々ガ之ヲ擁護セバナラズト云フ事モ當然ノ歸結デアアルノデアリマス、此議長ノ不信任案ハ最モ意義ノアル、最モ重大ナル問題デナケレバ、容易ニ此ノ不信任案ヲ出スベキモノデナイト云フ事モ當然デアアルノデアリマス(拍手)併ナガラ森田君ノ全會一致ノ不信任案ニ非ザレバ出スコトガ出來ナイト云フヤウナ御議論ニハ、賛成ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス、政友會ノ諸君ハ嘗テ少數黨デアリシ時代ニ於テ、島田三郎君ガ議長ノ時代ニハドウ云フ不信任案ヲ出シタノデアリマスルカ(拍手)此政友會カラ出シタル不信任案ハ一トシテ通過シタ例シガアルノデアリマス、何レモ是ハ少數デ破レタデアリマセヌカ、此議論上カラ申シマスレバ、森田君ガ少クとも全會一致ニ非ザレバ不信任案ヲ出ス事ガ出來ナイト云フ議論ハ出來ナイノデアリマス(拍手)吾々ハ平素與議長ガ公平ニシテ、而モ職務ニ忠實ニ御盡シ下サル事ニ付テハ、平素敬意ヲ表シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此公平ニシテ而モ職務ニ忠實ナル議長ヲシテ、或ル輩カラシテ不公平ヲセシムルモノハ誰デアアルカト云フ事ハ——何處ニ在ルノデアアルカ(拍手)遺憾ナガラ吾々ハ此公平ヲ主トスル議長デアリマス、横暴ナル多數ノ向背ニ左右セラル、議長ノ不信任ヲ提議スルモノデアアル(拍手)十四日ノ出來事ハ此議長ノ騷擾ヲ招イタ事ハ御同様痛惜ニ堪ヘナイノデアリマス、御同様是ハ痛歎ノ至リデアアルノデアリマス、議場ノ騷擾ハ畢竟其動機ハ種々ナル動機ガアルデアリマセウ、如何ナル動機デ議長ガ騷擾ヲ來スカト云フコトハ、私ハ議論ノ必要ハナイト思フ、但シ議長ノ騷擾ニ對シテハ之ヲ整理シテ、之ヲ處理スルコトハ是ハ議長ノ當然ノ職務デアリ、隨テ是ハ責任デナケレバナラズノデアリマス(拍手)騷擾ノ原因ガ何レニアルニ拘ラズ、一タビ此議長ガ騷擾ヲシタ、此整理ノ任ニ努メルコトガ出來ナイト云フトキニハ、議長ノ其職務ヲ糾サナケレバナラズト云フコトハ、當然吾々ノ權利デアアルノデアリマス(拍手)只今森田君ハ森田君ノ五箇ノ材料ニ對シテ甚ダ無禮ナル(バラ彈ト呼フ者アリ)バラ彈トハ何事デアアル、森田君ノ此五箇ノ根據ガバラ彈デアルトスレバ、森田君ノハ空砲デアルト云フテ差支ナイ(拍手)議長ガ採決スル能力ヲ缺イタト云フコトハ、森田君ノ説明ニ依ッテ明カデアアルノデアリマス、私ハ茲ニ

諸君が反對ノ出來ナイ——反對スルコトノ出來ナイ——
確カナ證據ヲ提供シテ見ヤウト思フデアル、是マデ此演壇
ニ議長ニ交渉スベク登ルト云フコトハ慣例ニナテ居ル
デアリマス、假令少シ位ノ騷擾ヲ致シタトモ、前大岡議長
ノ時代ニ於テモ、此演壇ニ登ラ者ヲ直ニ之ヲ懲罰ニ付シタ
ト云フヤウナル、左様ナル亂暴ハ今日マデ一人モ無カ
デアリマス(拍手)況ヤ木村三郎君、中野寅吉君ヲ懲罰
ニ付スト云フコトハ何事デアル(拍手、發言スル者アリ)少々
御聴キ下サイ、此理由ヲ能ク御聴キ下サイ、三木君……

〔發言スル者多シ〕

○副議長(粕谷義三君) 靜肅……

○小泉又次郎君(續) 三木君ニ退場ヲ命ゼラレマシタル
其辯明ヲ命ゼラレ、發言權ヲ得テ登壇ヲシテ退場ヲ拒ムト
云フコトノ理由ヲ辯明致シタデアリマス、但シ此退場ヲ命
ジタル者ニ發言ヲ許シタト云フ事ハ、國民黨ノ追窮ニ會ウ
テ、今日議長ハ陳謝ヲシテ居ルデアリマセウ、但シ此手
續ハ議長ノ陳謝ニ依リテ明瞭ニナラナクデアリマセウ、去ナ
ラ三木君ノ辯明ヲ許スト致シマスレバ、木村君、中野君ノ
辯明モ許サナクレバナラヌ道理デアル(拍手)此故ニ三木君
ハ三木君ノ辯明ノ終ルヲ待テ辯明ヲ求ムベク——辯明ヲ
致スベク議長ニ發言ノ通告ハ確カニシテアツタデアアル、此
發言ヲ致スベク議長ニ二人ハ待テ居ラタデアアル、然ルニ三
木君ヲ懲罰ニ付スト云フ傍枝ヲ喰シテ、議員ノ發言ノ尊重
ヲセバナラヌ、三木君ヲ中野君ニマデ傍枝ヲ喰ハシテ
懲罰トハ何事デアルデアリマス(拍手)之ヲ譬ヘテ言フナ
ラバオ前ハ泥棒ノ這入ルノ監視シテ居テ、其任務ヲ盡サ
ナイカラ、共ニ是ハ懲罰ニ付ス、斯ウ云フコト些トモ違ヒハナ
イデアアル、凡ソ議長ハ懲罰ト云フヤウナル議員ノ職責ニ對
スル、確實ニ大切ナル問題ハ自ラ之ヲ命令スルヨリモ、院議
ニ諮フテ而シテ決スルコト云フコトガ、御同様ノ此職責ト
云フコトヲ大切ニスル上カラ言フモ當然デアアルデアリマ
ス(拍手)惟フニ賢明ナル議長ハ平素其事ハ能ク承知シテ
居ラレド、議長ヲシテ議長ノ自由意思ヲ行使セシム
レバ、必ズ左様ナル懲罰ノ濫用ト云フコトハ到底出來得ナ
イト思フ、此懲罰ノ濫用ヲセシムルト云フコトハ、畢竟公平
ニシテ而モ其職務ニ忠實ナル此議長ヲ、或ル黒幕ガ之ヲ利
用スルト云フ結果カラ起ルデアリマス、此自分ノ意思ヲシ
テ自由ニ行使スルコトノ出來ナイ、而モ議場ノ整理ヲスルコ
トノ能ク缺イテ居ル、斯様ナル議長ハ吾々ハ一日モ是如ク
シテ戴クコトハ出來ナイデアリマス(拍手)況ヤ最近三頭
トシテ起ル所ノ此毆打問題ハドウデアリマス、場外ニ於テハ
鳩山一郎君ノ毆打ガアリ、昨日ノ如キハ三木君ニ對スル
西川君ノ暴力行為ガアルデアリマス、議長ハ公平ニシテ
斯ノ如キ事件ノアリシ時ニ於テ、議場ノ騷擾ノ生ゼザル以

前ニ之ヲ整理セバナラヌハ是ハ議長ノ當然ノ責任デア
ルデアリマス、何時モ議長ハ無能ノ爲ニ議場ガ騷擾ヲ來
サナクトモ宜シイ事マデモ騷擾ヲ來シテ居ルト云フコトハ
畢竟議長ガ其職責ヲ盡ス能ハザルト云フ結論ニ到著セ
バナラヌデアリマス(拍手)私ハ此意義ニ於テ議長ノ十四
日ノ處置ハ甚シキ失當デアル、此故ニ議長ノ不信任案ニ贊
成ヲ致スデアリマス(拍手)

○副議長(粕谷義三君) 湯淺凡平君

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君 本員ハ此決議案ニ對シテ反對ヲ表明ス
ル者デアリマス(拍手)只今憲政會ヨリ御説明ニナリマシタ
此決議案ノ趣旨ハ、議長不信任ナリト事デアリマス、併ナ
ガラ此議案ニ對スル所ノ本文ヲ朗讀致シマスレバ、議長不
信任トシテハ甚ダ微温的、甚ダ薄弱ナルモノデアルト吾々ハ
認メタデアリマス(拍手)眞ニ議長ヲ不信任ナリトセラル、
ナラバ今少シ徹底底底ノ、今少シ痛切ニ、吾々ハ議長ヲ
信任セズト御書キナラナクレバナラナイ苦ノモノト考ヘマ
ス(拍手)固ヨリ吾々トシテモ議長ノ今日マデ執ラレタ所ノ
其處置、決シテ之ヲ正當ナリト認メルモノデアリマセウ、失
當ノ甚シキモノ、アル事ヲ認メル、極テ之ヲ冷靜ニ考ヘテ見
マシテモ、議長ガ懲罰權ヲ御用キニナルニ當リマシテモ、動モ
スレバ反對黨ニノミ之ヲ御行使ナサレ、所謂政府ノ與黨ニ
對シテハ極テ寛大デアアルト云フコトヲ吾々ハ認メルデア
(拍手)一ツノ例ヲ申シマシテモ、先日政友會ノ西川嘉門君
ハ、確ニ此壇上ニ於テ暴行ヲ働カレタ居ルデアリマス、而
モ議長ノ直グ側ニ於テ此暴行ヲ働カレタニ拘ラヌ、議長ハ
之ニ向テ何等ノ懲罰權ヲモ行ウテ居ラヌデアリマス、
斯ノ如キ例ヲ舉ゲテモ、又更ニ二十四日ノ此豫算案採決ニ
際シテ議長ノ執ラレタ處置ノ如キハ、實ニ失當ノ甚シキモノ
デアリマス、此故ニ吾々ハ若シ議長ヲ信任セズト云フ事デア
ルナラバ、今少シ此決議案ガ徹底底底ノ、サウシテ今少シ痛
切ニ明ニ書イテアルナラバ、吾々ハ又其考慮ヲシナケレバ
ナラヌ、併ナガラ問題トナテ居ル所ノ此議題ハ、即チ此處ニ
認メテアルガ如ク、與黨三郎君ノ處置ハ失當ノ甚シキモノ
ナリト認ム、此位ナ程度ノモノデハ吾々ハ之ヲ不信任決議
ナリトシテ賛成スルコトハ出來ナイ、次ニ吾々トシテ、ナケ
レバナラヌ事ハ、議長ノ今日マデ執ラレタ所ノ其處置ハ甚
ダ失當デアリ、相違ナイケレドモ、苟モ議長ハ即チ一院ヲ代
表スル所ノ重キ責任ノ地位ニ居ル者デアリマス、之ニ向テ
不信任ノ決議ヲスルコトハ云フコトニ付テハ、餘程重大ナル意
義ヲ以テ之ヲ見ナクレバナラヌデアリマス、然ルニ吾々ハ
議長ノ今日マデノ執ラレタ處置ニ對シテ、今日直ニ不
信任ヲ決議セバナラヌト云フ程度ニハ達シテ居ナイモノト
認メマス、併ナガラ既ニ——既ニ是マデノ處置ガ失當デア

ト云フコトハ所謂程度ノ問題デアリマシテ、今日直ニ不
信任案ヲ提出セバナラヌト云フ程ノ程度ニハ達シテ居ナイ
ト吾々ハ認メルデアアル、併ナガラ是故ニ——是故ニ吾々ハ
議長ヲ信任シテ居ルト決シテ思フモノデアナイ、故ニ今後
ニ於キマシテモ、尙ホ今日マデ執ラレタ如キ處置ヲ執ラ
ル、ナラバ、吾々ハ他黨ノ提案ヲ俟ズシテ吾々自ラ進ンデ議
長不信任ノ提案ヲナス者デアリマス、即チ之ヲ要シマスル
本決議案ノ本文ハ未ダ議長不信任トシテ不徹底ナルモノ
デアルト云フコト、尙又今日直ニ議長ヲ不信任ナリトスル
決議ヲ爲スノ時期ニ達シテ居ラヌト認ムルガ故ニ、此二ツノ
理由ニ依リテ反對スル者デアリマス

○副議長(粕谷義三君) 他ニ質問ノ通告モゴザイマセウ
カラ、討論ハ終結シタモノト認メマス、採決ヲ致シマス、此採
決ハ便宜上起立ニ依リテ採決致シタイト思ヒマスガ、如何デ
ゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガナケレバ起立ニ依
採決致シマス、安達謙藏君外四君ノ御提出ニナリマシタ決
議案、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔贊成者 起立〕

○副議長(粕谷義三君) 少數デアリマス、決議案ハ否決
サレマシタ、仍テ議長ノ復席ヲ求メマス——議長ノ復席セラ
レバマデ議事ヲ進メマス——昨日ノ議場ニ於テ留保セラ
レタデアリマシタ西川嘉門君ニ對スル懲罰委員ノ件ヲ此際
議題ニ供シマス、西川君ニ於テ御辯明ガゴザイマセウナラバ、
此際發言ヲ許可致シマス

議員西川嘉門君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議
〔登壇々々ト呼フ者アリ〕
〔西川嘉門君登壇〕
〔粕谷副議長議長席ヲ退キ與議長復席〕

○西川嘉門君 我ノ一身上ニ關スル此懲罰事犯ト云フ
コトニ付キマシテ、辯明ト云フヨリモ寧ろ事實ヲ諸君ニ申上
ゲテ——辯明ト云フヨリモ寧ろ事實ヲ諸君ニ申上
判斷ノ材料ニ致シタイト思ヒマス(聞エナイ)「高聲ニ」ト呼
フ者アリ)私ハ敢テ此懲罰事犯ヲ自ラ認メタル罪ヲ通レヤ
ウト云フ意思モゴザイマセウ、若シアレバデス、是ハ當然受ク
ベキモノナリト云フ觀念モ持テ居リマス、居リマスルガ只此
經路ダケヲ——私ハ懲罰事犯ニナルダケノ事ガアルヤ否ヤ、
此點ニ付テ其經過ダケヲ申上デマス、餘ハ皆様ノ御判斷ニ
御委セ致シマス、一昨十四日ノ此本會議ヲ休想ヲ宣セザルノ已ム
ヲ得ザルニ立至タデアリマス、是ハ此際ニ於テ從來三木
君ハドウ云フ方デアツカ、私ハ本院ニ席ヲ置キマシテカラシ

テ、寔ニ日ハ淺イノデアリマスルケレドモ、如何ナル會議ニ於
キマシテモ、三木君が議長ノ注意ヲ受ケザルコトハ殆ド無イ
ト言フモ宜イ位デアル(拍手)而モ此注意タルヤ何時モ三
木君ハ此注意、即チ議長ノ注意ヲ聽入レナイノミナラズ、此
院內ニ於テ極テ秩序ヲ維持スベキ我ガ取締ニモ服從シナイ
ノデアリマス...

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ...

○西川嘉門君(續) 議長ハ此點ニ付テハ餘程三木君及
憲政會ノ御方ニ對シテハ平素寛大ノ御處置ヲ執ラレ、所
謂吾等政友會トシテハ寔ニ齒痒イ事ガ屢、アタノデアリマ
ス、之ヲ三木君初メ憲政會ノ諸君ハ好イ事ニシテ、現ニ一
昨日ノ此本會議ニ於テノ三木君ノ行動ハ、先ヅ第一ニ國
務大臣ニ對スル田夫野人モ尚且ツ避ケネバナラヌヤウナ言
語行動ガ、タ爲ニ、先ヅ第一ニ議長ノ注意ヲ受ケ、退場ヲ
命ゼラレ、而モ尙ホ之ヲ聽入レズシテ此議長席ニ...

此壇
上ニ立上テ、ソレガ爲ニ一大紛擾ヲ起シテ、此紛擾ノ責任
ハ三木君ソレ自身ガ負ハナケレバ相成ラヌ、斯様ニ三木君ハ
平素ノ行動ガ、既ニ吾等ガ本院議員ト爲、テ以來數回ノ懲
罰事ヲ起シ、而モ懲罰ニ付セラレテ居ルノデアリ、斯様ナ
常習犯トモ云フベキ三木君ガ... (議長)議長、人身攻
撃ヲ許スノデスカ!議長「ト呼フ者アリ、議場騷然」
全ク此院內ノ取締法及院內ノ制裁ノ力ガ全ク三木君ニハ
及バヌト云フヤウナ狀態ニ相成テ居ルノデアリ、茲ニ於テ
吾等ノ考ハ、斯ノ如キ傍若無人ナル禮儀ヲ辨ヘザル三木君
ノ如キニ向テハ、唯鐵拳アルノミト云フ決心ヲ致シ、三木君
ノ(拍手起ル)私ヲシテ此鐵拳アルノミト云フ決心ヲ致サセ
タノハ、是ハ憲政會、三木君ガ殆ド全責任ヲ負ハナケレバ
ラヌノデアリマス、諸君併ナガラ(辯明ヲ爲セト呼フ者アリ)
尙ホ御聽ヲ願ヒタイ、而モ十四日ノ此問題ハ、議長ハ三木
君初メ其他二三ノ御方々ノ極テ傍若無人、殆ド人トシテ
扱フベカラザルノ狀態ニ立至タガ爲ニ、休憩ヲ宣セラレタ
デアリ、私ハ休憩前マデハ此直グ下ニ居ル友人向井君ノ
席ノ所ニ居テ、議長ガ休憩ヲ宣セラレタ後、先刻國民
黨ノ湯淺君ヨリ議長ハ不公平デアリ、政友會ノ西川嘉門
ガ斯ノ様ナ行動ノアツタ十四日ノ事實モ、之ヲ制止セ
ヌト仰シヤタガ、何ゾ圖ラン其時ニハ議長ハ休憩ヲ宣セラ
レテ、此席ニ居ラレナカッタ、是ハ序デスカラ私ハ中上デテ置
キマス、ドウゾ御同達ノナイヤウニ願ヒタイ、是ヨリ當日ノ此
政府委員席ニ於ケル私ノ行動、三木君ノ言語、其他ニ付テ
事實ノ御話ヲ致シタイと思ヒマス、ソレハ議長ガ此席ヲ
御退キニナタ後ニ多クノ人ガ、此場所デアリマス、三木君ヲ
諸方ヨリ盛ニ押ヘテ居リマス、私ハ丁度此席ノ向井君ノ所

ニ居ッテデアリマスカラ、勢ヒ其席ノ近イ爲メ之上テ諸
君止シ給ヘ、止シ給ヘト言ウテ上テ來タ、私ハ決シテ卑怯
ナコトハ申シマセヌ、事實ヲ有ノ儘ニ御話シマス、皆サンハ御
聽キニナタ上デ、公平ニ御判斷サヘシテ下サレバ宜イト思
フ、此梯子段ヲ全部上テシマハヌ内ニ、三木君ト圖ラズ顔
ト顔ガ合ッテデアリマス、此一刹那、三木君ガ口、私ニ向
テ、西川貴様僥倖打ッテナト云フ言葉ガアリマシタ、確ニ私ハ
聽キマシタ、是ニ於テ私ハ斯様申シタ、三木君吾輩ハマダ梯
子段ヲ上テシマハヌ、而モ君ヲ打ツコトガ出來マセウカ、斯
様ニ言フト、三木君ガ拳ヲ舉ゲルト同時ニ、尙ホ斯ウ云フ事
ヲ仰シヤタ、西川嘉門私ヲ打チマシタ、斯様ニ言フト其時
私モ斯様ニ言フタ、宜シイ吾輩ガ打チマセヌノニ打ッタル云フ
ナラバ、三木君本當ニ打ッタルト私モ腕ヲ舉ゲタ、三木君
モ腕ヲ舉ゲタケレドモ、三木君ノ手モ私ニ届カナカッタ、私ノ
手モ三木君ニハ届カナカッタ、私ハ決シテ卑怯ニ逃ゲルモ
デハアリマセヌ、唯事實ヲ申スノミ、此時ニ私ヲ後ロカラ抱
ヘタ人ガアリマシタ、一人デハナイ、二人三人アリマシタ、此
場合ニ抱ヘラシタ一人ハドナタカト思フテ、私見マスト云フト、
ソレハ憲政會ノ重役ヲシテ居ラレタ森田茂君デアリマシタ、
アリマス、森田君ガ私ヲ後ロカラ抱ヘテ曰ク「私ハ三
木君ニ打ッタル言ハレタ以上ハ、飽迄實行セネバイカヌ、斯
様ニ腕ヲ振上ゲルト、森田君曰ク君分テ居ルセウカラ、モウソ
ハ止シタ方宜イ、私ハ平常森田君サント云フ方ハ、非常ニ總
テノ事ニ敵愾心ヲ多ク持タル方デアリ、當日ハ如何ナル
風ノ吹迴シデアルカ、私ニ對シテハ非常ニ深切、顔ヲ見ル
偉大ナル體格ノ所有者ノ森田君デアリマス、反對黨ノ
領袖デモ斯ノ如キ雅量ヲ以テ、私ニ一時是ハ止シタ方宜イ
ダラウト云フ、此言葉ニ對シテ、アタガサウ仰シヤルナラバ、
止シマスト言ウテ私ハ政府委員席ノ間ヲ排シテ、而シテ私
ハ自己ノ控室ニ參、タト云フヤウナ次第デ、以上ノ事ハ少シ
モ飾氣ノ無イ事實、有リノ儘ニ申上ゲル次第デアリマス、而
シテ尙ホ茲ニ附加ヘテ一言申上ベタイと思フ、私ガ丁度關
東俱樂部ノ控室ニ行ッテ居リマス、同志ガ二三人見エマ
シ、ヤアエライ事ヲト云フヤウナコトヲ言ヒマスカラ、イヤ三
木君ヲ僕ガ打ッタル云フヤウナコトヲ言ハレタケレド
モ僕ハ打ッタルシテモ打テナカッタ、而モ三木君モ吾
輩ヲ打ッタルシテモ打テナカッタ、斯様ナ事ヲ言ヒマシテ、敢
テ私ハ深ク口ヲ利キマセヌ、唯其時ニ私ハ筆ヲ執、斯様ナ
事ヲ同志ニ示シマシタ、見切付ケタ武吉サン何デ私ガ打
チマシヨカト云フコトヲ記シタ、以上ノ理由デアリマス故ニ、
私ハ罪ニナルナラヌハ、アタガ方ノ御判斷決シテ私ハ卑怯
ナ振舞ハ致シマセヌ、唯事實ヲ申上ゲテ皆様ノ賢明ナル御
判斷ヲ俟ツノミデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 三木武吉君
「議長」議長「ト呼フ者アリ」
○議長(奥繁三郎君) 三木君ヨリ一身上ノ事ニ付テ辯
明致シタイト云フコトデアリマス、之ヲ許シマシタ
○湯淺凡平君 議事ノ進行ニ付テ發言致シタイ
○議長(奥繁三郎君) 今許シマシタカラ...

○湯淺凡平君 議事ノ進行デアリマス

○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行デモ、人ノ發言中ニハ
成ベカラスト云フ申合セデス

○湯淺凡平君 發言中ニ許シタ慣例デアリマス

(三木武吉君登壇)

○三木武吉君 我ハ只今議題トナリマシタ西川君ノ懲罰
事犯ニ付テ、被害者ノ立場トシテ其當時ノ事實ヲ諸君ニ
申上ゲルノ機會ヲ得タイと思ウデ居リマシタケレドモ、事改
メテ左様ナル事實ヲ此議場デ申上ゲルコトハ西川君ニ對シ
テモ如何カト存ジマシテ差控ヘテ居リマシタ所ガ、西川君ハ
御自身ノ御辯明ヲ爲サルノ際ニ、不肖三木ヲ引合ニ出サレ
テ彼此レ御議論ヲナサレタヤウデアリマス、私ハ敢テ西川君
ノ私ニ對スル批評攻撃、ソレ等ニ對シテ此席デ一矢ヲ酬エ
ル事ヲ快トスル者デハナイ、併シ西川君ノ言ハレタ言葉ノ中
ニ、私ノ十四日ノ議場ニ於ケル行動ガ傍若無人デアリ、又
從前ノ私ノ行動ハ甚ダ不都合デアリ、斯ノ如キ三木ニ對シ
テハ人トシテノ取扱ヲスルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、斯
ウ云フコトヲ言ハレタ、是ハ西川君ハ御記憶デセウ、人トシ
テノ取扱ヲスルト云フコトハ面白クナイト言ハレタ、私ハ西
川君ニ聽ク西川君ガ吾輩ヲ人トシテノ取扱ヲシナイ、然ラ
バ吾輩ヲ牛トシテノ取扱ヲシナハ人トシテノ取扱ヲシナイ、然
スノ如キ御發言ヲ爲サレタノ自己ヲ衛ランガ爲ニ、不用
意ニ斯ノ如キ言葉ヲ用井ラレタノデアリト私ハ思フケレドモ、
神聖ナル議場ニ於テ議員デアリ、吾等ノ同僚ニ、人トシテノ取
扱ヲスルコトガ出來ナイト云フコトハ何デアリマス、吾等ガ若
シ一試ニ私ガ政友會ノ總務デアリ所ノ岡崎君、大岡君其
他ノ方々ニ、諸君ハ人トシテノ取扱ノ出來ヌモノデアリト言
タナラバ、諸君ハドウナナル、決シテ諸君ガ之ヲ寛容セラレ
モノデアナカラウト思フ、私ハ希クハ西川君ガ斯ノ如キ暴言ヲ
吐カレタコトヲ、此際御取消シナテ下サランコトヲ希望致
シマス、西川君ノ爲ニ希望致シマス、ソレカラ當時西川君ガ
私ヲ毆打シタコト、セヌカト云フコトニ付テ、盛ニ御辯明ニ
ナデ居リマシタガ、私ハ此機ニ當時ノ光景ヲ委シク申上ゲ
テ、其證據ヲ舉ゲテ御覽ニ入レル、私ハ此席ニ立チマシテ守
衛其他ノ人ト議場ノ事ニ付テ彼此レト論爭シテ居ル、言
葉ノ論爭デスヨ、腕ノ論爭デアリマセヌ、言葉論爭ヲ致
シテ居リマシタ所ガ、突然丁度此上カラ二段目位ノ階段ノ
處カラ、私ノ背後ニ鐵拳ヲ喰ハシタ人ガアツタノデス、其鐵拳

ヲ喰ハシタ人ハ何人デアタカト云フノデ、振向イテ見タ所ガ
ソレガ西川君デゴザイマスカラ、私ハ西川君何ヲスルノカ、貴
様ハ吾輩ヲ打ツノカト言フト、ナニ打テヤルト云フノデ更ニ
手ヲ舉ゲタノデス、幸ニシテ其場合ニ私ノ周圍ニ守衛其他
ノ人ガ居リマシタカラ、西川君ヲ取圍シテ再ビ其暴行ヲ敢
テスルコトヲ許サナカッタ、併シ此儘デ西川君ガ逃走セラ
ルヤウナ事ガアデハ、寔ニ遺憾デアルト思フカラ、私ハ西川
君ヲ捉マヘテ、君ハ我等ヲ打ツ事ニ付テ十分ノ自覺ガアル
ダラウ、斯ウ言ウタ所ガ、西川君ハソレニ對シテ何ノ答モシ
ナカッタ、段々ト尻込ミヲシテ向フノ方ヘ逃出サウトシテ居
タガ、私ハ捉マヘテ逃サナカッタ、其事ニ付テハ只證據ガアル、
玆ニ立派ナ證據ガアル、諸君ノ親友、政友會諸君ノ親友
デアル春日俊文君ガ私ニ對シテ、マア君宜イカラ放シテヤ
テ呉レ給ヘト、私ニ春日君ガ言ッタ、放スモ放サナイモナイデ
ヤナイカ、現ニ斯ノ如キ暴行ヲシタノヲ、君モ見テ居ルデハナ
イカト言ウカラ、ナニ俺モ承知シテ居ルカラ後ノ事デ宜イデ
ヤナイカ、免ニ角外ヘ出シテヤラウト云フノデ、多クノ人デ以テ
外ヘ出ラレタ、是ハ春日君ガ御承知デスヨ、マサカ其當時私
ニ彼此レ言明シ、又議場外ニ於テ、此事實ニ付テ我黨ノ井
上剛一君ガ春日君ニ向ホ念ヲ押シタラ、其通りデアルガド
ウカ議場ノ問題ニナラヌヤウニシテ貰ヒタイト、春日君ハ情
ヲ井上君ニ訴ヘタ事實モアルノデス（拍手）事實ハ斯ノ如ク
明カナデス、況ヤ……

○議長（與繁三郎君） 三木君ニ注意シマス

○議長何ダ「不公平」ト呼ヒ議場騷然

○議長（與繁三郎君） 三木君ニ注意シマス、只今……

○議長ハ不公平デアアル「西川君ニハ十分辯明ヲサ
セタデヤナイカ」議長「ト呼ヒ議場騷然」

○三木武吉君（續） 議長ノ——議長ノ注意ハ尻切蜻蛉デ
アトガ何モゴザイマセムカラ、引續イテ私ハ辯明シテ宜シイモ
ノト思フ辯明ヲ致シマス、サウ云フヤウナ事實デ、既ニ西川
君ノ同僚デアアル所ノ春日君サヘ認メテ居ルデヤアリマセムカ、
春日君ガ今日此席デアスヨ、前言ヲ翻シテ事實ニ對シテ變
節ノ論ヲ爲サレカモ知レマセムケレドモ（拍手）併シヨモヤ
幾ラ春日君ト雖モ、憲政會ヲ脱テ政友會ニ引ツリ返シタ
ヤウニ鮮カニハ此議論ハ變ヘラレマスマイ（拍手起ル）私ハ
是ダケノ事實ヲ申上ゲテ、西川君ノ御辯明ハ事實ニ相違シ
敢テ誣ユルニ私ヲシテ暴行者ノ如クニ吹聴セラレルモノデア
テ、私ニ取テハ敢テ當ラズト云フコトヲ申上ゲテ置カナケレ
バナリマセム

○湯淺凡平君 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 湯淺凡平君
「登壇」登壇「ト呼フ者アリ」
「湯淺凡平君登壇」

○湯淺凡平君 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 湯淺凡平君
「登壇」登壇「ト呼フ者アリ」
「湯淺凡平君登壇」

○湯淺凡平君 先刻西川嘉門君ハ一身上ノ辯明ヲ爲サ
ル、ニ當テ、恰モ牛ヲ殺スガ如キ手付ヲ以テ（拍手）唯鐵拳
アルノミト云フ言葉ヲ發セラレマシタ、實ニ間拾ナラヌ暴言
デアルト吾ハ思フ（ヒヤ）（拍手）尤モ先頃鶴澤總明君ハ
場合ニ依テハ言語ヨリ或ハ腕力ノ方ガ輕イ事ガアルト云
フ御演說モアッタ、若シ左様ナ御考ヲ以テ言論ニ代ユルニ鐵
拳ヲ以テスルト云フヤウナコトガ、議場ニ行ハレマシタナラバ
ソレコソ私ハ大變ナ事デアルト思フ（拍手）又私ハ先刻議長
ノ是マデニ御執リニナツタ懲罰權ニ對スル所ノ處置ガ、時ト
シテ公平ヲ缺クト云フコトヲ申シテ西川君ノ場合ニ於テモ、
先刻西川君ノ御辯明ニ依レバ休憩中デアッタガ、併シ議長
ハ注意ヲシタト申シタ（サウデハナイ）ト呼フ者アリ議場騷
然ハ注意タケニ止マルモノデアナイト思ヒマス、斯ノ如キモ
ノハ若シ懲罰事犯ト認メルモノナラバ、價値アル懲罰事犯
ト認メルノデアリマス、故ニ休憩後ニ於テモ議長ハ他ノ發議
ヲ待タズ、速ニ議長自身ノ發意ニ依テ懲罰ニ付セラルルナ
ラバ、極テ公平デアッタラウト私ハ思フ（拍手）又只今西川君
ノ發言ニ對シテモ、吾モ殊更此演壇ニ立ツマデモナク、立ロニ
議長ハ之ニ取消ヲ御命ジニナルナラバ、極テ公平デアッタラ
ウト思フ、然ルニ此事ヲモ爲サレヌト云フノハ、益、吾モヲシテ
議長ノ不公平ナルコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス（拍
手）故ニ此鐵拳云々ノ言葉ニ對シテ、西川君ハ速ニ御取消
ニナルカ、若クハ御取消ニナラザルトキニ於テハ、議長ハ之ニ
向テ相當ノ所置ヲ爲スコトヲ正當ト認メルノデアリマス（拍
手起ル）

○議長（與繁三郎君） 議長「ト呼ヒ發言ヲ求ム、
又「登壇」登壇「ト呼ヒ議場騷然」

○議長（與繁三郎君） マダ許シマセヌ——マダ許シテ居リ
マセヌ——湯淺君ハ議長ハ西川君ノ發言ニ對シテ取消ヲ命
ズルカ懲罰ニ付スルガ宜シイト言ハレマシタガ（懲罰トハ言ハ
ナイ）ト呼フ者アリ發言ニ對シテ別段取消ヲ命ズル箇所ハ
發見シマセヌ

○議長（與繁三郎君） 議長「不公平」ト呼フ者アリ議場騷
然
○議長（與繁三郎君） 議長ハ半バ以上演說ヲ聴キマシタ
ガ之ヲ發見シマセヌ
○春日俊文君 只今三木君ハ西川君ガ暴行ヲシタト云
フコトヲ懲罰ノ問題ニ對シテ、自分ノ一身ノ辯明ト云フコ
トノ爲ニ、玆ニ御上リニナツタヒト仰シヤツテ、私ニ證言ヲ
御求ニナツタノカ（サウデハナイ）何ヲ言フノダト呼フ者アリ
議場騷然「ソレデハドウトカ斯ウトカ、人ノ惡口ヲ言ヒニ上
タノデスカ」

○議長（與繁三郎君） 問答ハ許シマセヌ
○春日俊文君（續） 吾輩ハ自分ノ見タ事ヲ見ナイナドト
云フヤウナ詰ラヌコトヲ云フ者デハナイ、三木君ノヤウナ……
人間トハ人間ガ違フノダ（拍手）議場ノ演壇ニ立テ言フノダ
（議場騷然）何ダ——何ダ馬鹿野郎、議場ノ演壇ニ立テ選
舉運動ヲスルヤウナ卑怯ナ人間デハナイ、人ノ惡口ヲ言フナ
ラ男ヲシク言ヘ、無禮者メ（拍手起ル）
○議長（與繁三郎君） 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 只今春日俊文君ノ演說中、三
木君ノ如キ……云々ト云フ一語ニ對シテ取消ヲ命ジマス（拍
手）
○春日俊文君 私ハ事實ヲ事實トシテ言ッタノデアラカラ、
取消ハ致シマセヌ
○議長（與繁三郎君） 事實ノ有無ヲ問ハズ、取消ヲ命ジ
マス（春日俊文君「取消シマセヌ」ト呼フ）——中西六三郎
君
○議長（與繁三郎君） 議長「不公平」ト呼ヒ其他發言スル
者多ク、議場騷然
○中西六三郎君 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 議長ハ極テ簡單ナル事ヲ此機會ニ於テ提
案者ニ御尋フシタイト存ジタノデアリマス、議場ガ可ナ
リ騷ガシイカラ態、登壇ヲ致シマシタ、ソレハ西川君ノ辯明
ヲ承リマスルト云フハ、此懲罰動議ニ係ル出來事ハ、提案
者ノ説明ト兩々對シ來リマシテ此壇上ニ於テ吾モガ正當
ニ著席致シテ居ル所ヨリ直線ニ認メ兼ネル時ノ出來事デア
ルガ故ニ、相當ニ審查ヲ要スルト考ヘテ居リマス、ソレニ付テ
テ一應承テ置キタイノハ、西川君ガ辯明ノ中ニアツタ如ク、
提案者ノ御意見ハ議長ガ休憩ヲ宣告セラレテ以後ノ出來
事ト御認デアルカ、或ハドウ云フ時期デアアルカト云フ事、是
ハ必シモ審查ヲ防グ前提デハナイノデアリマス、何レニ致
シマシテモ一應審查ヲ致スガ相當デアルト云フ考ハ持ッテ居
リマスルガ、此機會ニ於テ向ホ明ニ承ッテ置キタイト思フノデ
アリマス
○議長（與繁三郎君） 中西君ハ提出者ニ對スル質疑デゴ
ザイマシタガ、井上君御答致シマスカ
○井上下ウシタ「ト呼フ者アリ」
○議長（與繁三郎君） 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 井上君御答致シマスカ
○小泉又次郎君 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 議長——議長
○議長（與繁三郎君） 井上君御答ハアリマセムカ
○議長（與繁三郎君） 井上剛一君

〔井上剛一君登壇〕
〔教ヘテ貴タカ下呼フ者アリ〕

○井上剛一君 教ヘテ貴ヒマセヌ(笑聲起ル)如何ニモ議場ガ御静デナイノデ、中西君ノ御尋ニナル範圍ガ私ニハ分ラナカッタ、ソレデ同僚ニ聴イテ居、タノデアル、私モ三十年來法律事務ヲ執、テ居ル男デアリマス(笑聲)僅カノ事デ躊躇スル男デハナイノデアル、本員ガ去ル十四日ノ議場ニ於テ西川嘉門君ニ對スル懲罰事犯ノ動議ヲ提出致シマシタコトハ、既ニ諸君ハ速記録ヲ御承知ノコトデアラウト思フデアル、現ニ先刻議長不信任ノ問題ノ際ニモ、國民黨ヲ代表スル湯淺凡平君ノ御演說中ニ於テモ、十四日ニ於ケル西川嘉門君ノ毆打ノ事實ヲ公言シテ居ルデハナイカ、而シテ又春日君ノ只今ノ辯明ニ依リマシテモ、俺ハ男デアルカラ事實ハ事實トシテ語ルト言明サレテ居ル、既ニ毆打ノ事實ハ顯著ナル事實デアラ、今ヤ休憩前ノ事柄デアアル、休憩後ノ事柄デアアルカ、ナドト云フコトハ問題デハナイ、即チ議事審議中ニ於テ、此議場内ニ於テ、西川嘉門君ガ議員ニ木武吉君ヲ毆打シタトノ事實デアルト御諒解ヲ乞フ(拍手)

○議長(奧繁三郎君) 小泉君

○議長(奧繁三郎君) 小泉君

○議長(奧繁三郎君) 小泉君

○議長(奧繁三郎君) 小泉君 議事ノ進行ニ付テデスカ
○小泉又次郎君 サウデス——只今西川君ノ懲罰事案カラ致シマシテ、三木君ノ身上ノ辯明トナリ、又春日君ガ此演壇ニ起、テ自ラ御辯明ナサタノデアリマスルカ、或ハドウ云フ御趣意デアリマスルカ、議場ガ騒然ノ爲ニ悉ク其趣意ヲ聴クコトノ出来ナカッタノハ遺憾デアリマスル、但シ吾モカ聴拾ニナラヌコトハ、議長ノ御宣告ノアツタ通り、春日君ハ不穩ナル言葉ヲ弄ンダノデアリマスル、不穩ナル言葉ヲ弄ンダノデアリマスル、ソレヲ議長ガ取消スベク御命令ニナツタノハ、諸君ノ御承知ノ通りデアアル、其儘デ居リマスレバ、我又何ヲカ言ハン、春日君ハ自席ニ於テ假令議長ノ命令タリトモ、自ラノ言葉ハ取消サヌト、斯ウ言フコトハ確ニ速記録ニ殘デ居リマスル、果シテ左様デアリマスレバ、議長ノ命令ハ神聖デアアルノデアリマス、我黨ノ同志ハ議長ノ命令ニ從ハントシテ居ル此利那ニ於テモ、懲罰ニ附セラレタノデアリマス、議長ハ此春日君ノ暴戾ナル懲罰ノ命令ニ從ハザルト云フ、此亂暴ナル言ニ對シテ懲罰事犯ニ付スベキノ誠意ガアリマスルカ、勇氣ガアリマスルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○議長(奧繁三郎君) 靜肅ニ願ヒマス——只今ノ小泉君ノ御尋ニ對シテ答ヘマス、如何ニモ春日君ハ取消ニハ應ジマセヌト言ヒマシタクレドモ、取消命令ナルモノハ(何ダ)

〔懲罰下呼ヒ、其他發言スル者多シ〕御聴キナサイ——取消命令ナルモノハ官報ノ速記ニ取消ヲ命ズルノデアアル、ソレ故ニ議長ノ命令ノ效果ハ必ズ現實サル、コト、信ジマス
〔ノウウ〕何ヲ言フカ、議長橫暴、默レト呼フ者アリ議場騒然

議員春日俊文君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議

〔清瀬一郎君登壇〕

〔議場騒然〕

○議長(奧繁三郎君) 茲ニ通告ガアリマス……

○清瀬一郎君 諸君、茲ニ私ハ議員ノ春日俊文君ニ對シ懲罰ノ動議ヲ提出シマス(ヒヤ)〔賛成〕ト呼フ者アリ、拍手起ル)同君ハ議員ノ一人ニ對シ匹夫ト雖モ口ニスベカラザル言ヲ口ニシ、且又議長ノ取消命令ニハ應ゼザルコトヲ表明シタモノデアリマス、私共ガ議長ノ不信任ノ決議ニ反對シタノハ此所デアリマス、吾モハ議長ノ地位ヲ尊信スルガ故ニ、濫ニ議長ニ不信任ノ表決ヲシナカッタノデアアル、然ルモ茲ニ議長ハ唯此人ガ自分ノ所屬ノ黨派ニ屬スル故ヲ以テ(拍手)取扱フ左右サレ、ト云フコトニナルト、吾モハ再ビ議長ノ信任ニ對シテ抗議セザルベカラザル事ニ立至ルノデアリマス、ソレハ僥倖キ議員ノ一人ニ對シスル如キ亂暴狼藉ナル言ヲ爲ス者ハ(亂暴狼藉ニアラズ)ト呼フ者アリ(我カ議員——議員ノ一人ニ對シ……ト稱スルモノガ亂暴狼藉デナクテ何デアアルカ(拍手起ル)是ハ即チ亂暴狼藉其モノデアリマス、故ニ此案件ニ對シテハ、政友會ノ諸君モ雅量ヲ持タレテ、滿場一致ヲ以テ懲罰ニ賛成セラレントフ希望致シマス

〔拍手起リ〕賛成々々、ノウウ)ト呼フ者アリ、議場騒然

○議長(奧繁三郎君) 懲罰事犯ノ動機デゴザイマスカラ、討論ヲ用ヰズシテ採決致シマス

〔發言者多ク議場騒然〕

○議長(奧繁三郎君) 清瀬一郎君ノ動議ニハ成規ノ賛成ガアルト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長(奧繁三郎君) 多數ノ承認メマス——多數ノ決議ニ依リマシテ、春日俊文君ヲ懲罰委員ニ付シマス

○議長(奧繁三郎君) 井上剛一君提出ノ西川嘉門君ニ對スル懲罰事犯、是モ採決致シマス、起立ニ依リテ決シマス、此動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長(奧繁三郎君) 多數ニ依リマシテ西川嘉門君ヲ懲罰委員ニ付シマス、茲ニ……

○議長(奧繁三郎君) 諸君——靜肅ニ——議員中野寅吉君及金澤守之助君ニ對スル懲罰委員ニ付スルモ動議ガ熊谷直太君外一名ヨリ出テ居リマス、此懲罰事件ノ緊急動議ヲ議題ニ供シマス、其動議ノ趣旨辯明ヲ許シマス、熊谷君

議員中野寅吉君金澤安之助君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議

〔熊谷直太君登壇〕

○熊谷直太君 諸君、此神聖ナル所ノ議場ニ於キマシテ、頻繁ニ懲罰事犯ノ繰返サル事ハ、本員ノ衷心ヨリ遺憾トスル所デアリマス、而シテ今茲ニ本員ガ中野寅吉君、金澤安之助君ノ兩議員ニ對シマシテ、懲罰事犯ノ辯明ヲ爲スト云フコトハ洵ニ遺憾ノ極ミデアリマス、諸君二月十四日ノ本會、吾モ衆議院議員トシマシテハ、最も重要ナル所ノ大豫算案ノ終末ニ於キマシテ、議長ガ此案ノ採決ヲ爲スニ當リマシテ、中野寅吉君ハ如何ナル理由アリテ、此演壇ノ下方ニ立タレマシテ議長ノ命令ニ依リテ採決ニ加ハルベク此壇下ニ來リシ所ノ議員黑住成章ノ投票行使ヲ妨害サレマシタ事實ト云フモノハ、衆人環視ノ裡ニ行ハレマシテ、明々白々ノ事實デアリマス(拍手)又議員金澤安之助君ハ議長ノ命令ニ依リマシテ、氏名點呼ヲ爲シテ居リマシタ所ノ衆議院局官江川芳光君ガ、此壇上ニ於テ氏名點呼ヲ爲シツ、アリシモノヲ、如何ナル理由ニ依リテ、其權利ノ行使ト云フモノヲ妨害シタルノミナラズ、更ニ此議壇ノ右側ニ於テ守衛佐藤茂作君ト云フ者ヲ壇上ヨリ壇下ニ突落シタ行爲ガアツタノデアリマス(拍手)其行爲ハ繰返シテ申ス迄モナイ、皆サンノ——衆目ノ見ル所ノ眞中ニ於テ、公々然トシテヤラレタ所ノ行爲デアリマシテ、更ニ一點ノ疑ヲ容レヌ所ノ行爲デアリマス(拍手)今更茲ニ改メテ申上ゲル迄モナイ、議員ガ議案ニ對シテ採決權ヲ行フト云フコトハ、議員ノ最も重要ナル所ノ權利ノ一ツデアリマシテ、吾モ議員ガ國民ニ對スル所ノ重大ナル所ノ義務デアリマス(拍手)殊ニ況ヤ當日ハ洵ニ重大ナル豫算案即チ我ガ衆議院ガ憲法上先議權ヲ有スル所ノ重大ナル所ノ豫算案ニ對シテ、採否ヲ決定スル其當日デアリマス、此場合ニ於キマシテ悲シイ哉、議員中野寅吉君、議員金澤安之助君ハ前申上ゲル所ノ行爲ヲ爲サレタト云フコトハ返ス——モ遺憾ノ次第デアリマス、吾モ衆議院ノ歴史ヲ詳シク承知ハモ、遺憾ノ次第デアリマス、治始テ以來即チ我ガ帝國議會始テ以來、種々ナル所ニ葛藤シテ此議場ニ於テ見ルコトヲ得タノデアリマスルガ、併ナガラ議決權ヲ行使スル投票行使ト云フヤウナ重大ナル案件ニ對シマシテ、妨害ヲ加ヘラレタルコトハ未ダ曾テ無イノデアリマス(拍手)吾モハ洵ニ議員中野君、議員金澤君ニ

熊谷君ノ健忘アリマスルカ、御忘レニナタコトデアラウト
思フノデアリマス、此壇上ハ洵ニ惡ルイ歴史ヲ殘シテ居ル所
ノ壇上デアリマス、何デモ第三十七議會ノ場合ニ於テ、大
隈首相ガ演説スル場合ニ當テ、政友會ノ諸君ガ之ヲ引
卸サウト致シマシテ、首相ニ暴行ヲ加ヘテ事實ハ實ニ明カナ
コトデアリマス（拍手）其當時ニ於キマシテ、私ハ懲罰委員
長ト致シマシテ、今世ニ時メク所謂閣下級ニ居リマス諸君ヲ
主懲罰ニ付シタ事實ガアリマス、又院內ノ重要ナル地位ニ
居リマス所ノ人ニ對シマシテモ、サウ云フ懲罰事ハ二付シタ
事ガアリマス、是等ノ事實ハ洵ニ吾々ガ與黨ノ諸君ガ傳統
的ニ粗暴性ヲ帶ビタモノデアルト云フコトヲ物語テ餘リ
ルト思フノデアリマス（拍手）斯ノ如キ人ニ對シテ、斯ノ如キ
風潮ノアル場合ニ於キマシテ、苟モ此議會ニ於テ暴行ヲ加
ヘ、人ヲ昏倒セシメ氣絶セシムルガ如キ態度ヲ執ル者ニ對シ
マシテハ、氣絶セシムルガ如キ態度ヲ執ル者ニ對シマシテハ、
重キ處罰ヲ以テ臨マナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ事デ
アリマス、之ニ對シマシテハ恐ラク何人モ異議ハアルマイト思フ
ノデアリマス、斯ノ如ク危險性ヲ帶ビタル人ガ、此議場ニ於
テ度々現レルト云フニ至リマシテハ、之ヲ根絶スベク吾々ハ
非常ナル決心ヲ要スルノデアリマス、現ニ私ノ只今申シマシ
タル事例ノ場合ニ於テ、議長席ノ後ヘ行テ島田議長ヲ引
張り下サウトシテ椅子ヲ搖タ者ガ、此議長ニマダ殘テ居ル
コトヲ認メマス、現ニ其當時ニ於キマシテ、今親任待遇ヲ受
ケテ居ル人ガ議長席ニ行テ、島田君ヲ壁ニ押付テ居テ居
事實モアルノデアリマス、斯様ナコトヲ粗暴性ヲ帶ビタル與
黨——政友會カラ多クサウ云フ事ヲ致シマスル者ニ對シテ
ハ、吾々ハ是ハ相當ノ嚴罰ニ處分シテ此禍根ヲ絶タナケレバ
ナラヌ、是ハ社會的意味ニ於テモ必要デアルト云フコトヲ感
ジマス、此意味ニ於キマシテ私ノ動議ニ對シマシテハ、皆様
ノ御賛成アラント希望致シマス

〔黑住成章君登壇〕

○黑住成章君 只今上程セラレテ居リマス私ニ對スル
懲罰事犯ニ付キマシテ、私ノ當日執リマシタコトヲ總テ辯
明致シマス、若シ私ニ責アリト致シマシタナラバ其責ヲ辭ス
ルモノデハナイノデアリマス、御清聴ヲ願フテ公正ナ御判斷ヲ
得タイト存ジマス、當日豫算討論ガ終了致シマシテ、議長
ハ記名投票ニ決スル旨ノ宣告ガアリマシタ、而シテ豫算返
付論ニ賛成ノ者ハ白票、之ニ反對ノ者ハ青票ヲ投ズヘキ旨
ノ宣告ガアリマシタ、續イテ例ニ依リマシテ氏名點呼ガ始マ
リマシタ、私ハ私ノ點呼セラレマデ注意シテ待テ居リマシ
タ、御承知ノ如ク當日ハ無所屬ノ人ニハ大分缺席ガゴザイ
マシタノデ、丁度私ガ最初ニ立ツヤウニ相成ッタノデアリマス
サウシテ投票スベク青票ヲ右手ニ掲ゲマシテ、此壇ノ上ヨリ

二ツ目マデ上リマシタ、サウ致シマス、中野寅吉君ガ此壇
上ニ大手ヲ擴ゲマシテ、來テヤイカヌ、斯様ニ言明サレタノデ
アリマス、私ハ之ニ對シマシテ投票權ノ行使タ（議場騷然）
御聽キ下サイ、事實ヲ事實トシテ御聽キ下願ヒマス、投票ニ
來タノデアリカラ、ドウカ其所ヲ除ケテ吳レ申シマシタ、
イカヌ——上ッテハイカヌト斯ウ申シマス、一體アノ人ハ逆上性
ノ人デアリマス、特ニ私ハ青票ヲ示シテ投票スルノダカ
ラ其所ヲ除ケ、妨害スルナト言ヒ、而シテ更ニ此私ハ此一
段目ニ上リマス、同君ハ兩手ヲ以テ私ノ肩ヲ強ク押シ、爲
ニ私が後ヘ落ナント致シマシタカラ、私ハ右手デ此欄干ヲ
握タノデアリマス、同時ニ（青票ハドウシタ）ト呼フ者アリ
右手ニ青票ヲ持テ握タノデアリ、サウシテ中野君ハ其押シ
タ手ヲ離シマセヌカラ、私ハ左手ヲ以テ中野君ノ肩ノ所ヲ
押シ、暴行ヲスルナト言ヒマシタ所ガ同君ハ其押シタ手ヲ離
サズ色々暴言ヲ吐キマスルカラ、私ハ之ニ對シマシテ投票權
ノ行使ハ議員ノ重要ナル權利タルト同時ニ義務トシテ大切
ナモノト信ジ、投票ノ行使ヲ何故妨害スルカト言ヒ、之ヲ排
除致シマシタ、即チ先程ヨリ雙方衝突シテ居テ盡力ヲ極
メテ同君ノ肩ヲ押シ切ッテ壇上ニ上リ、辛ウジテ投票ヲ行ヒ
直ニ壇下リタル次第デアリマス、之ガ事實ノ全部デアリマ
ス（議場騷然）少シク御聽キ下願ヒタイ、私ハ憲政會ト雖モ
敬意ヲ表シテ居ル諸君ガ多クアルノデアリマス、當時此壇
上ニ森田君ガオカデニナタコトヲ私ハ認メマシタ、甚ダ遺憾
ニ感ズルコトデ茲ニ一言辯明トシテ申シマス、議會政治ニ於
キマシテ暴行ヲ以テ議員ノ採決權ノ行使ヲ妨害スルト云フ
コト程危險ナコトハナイデアリマス、斯クテハ憲法政治ノ破
壞デゴザイマス、院內總務ノ責任ヲ持テ居ラレマスル所ノ
森田君ガ眼前中野君ガ爲セル最モ重大ナル投票權行使ノ
妨害ヲ阻止スルコトナク傍觀サレテ居タト云フコトハ多年
立憲政治ノ向上ニ努力サレテ居ル森田君ノ爲ニ實ハ私ハ
遺憾千萬ニ存ジマス、其様ナ暴行ヲ差止め貴要ナル投票ヲ
ナサシメテコソ總務トシテ相應シク、又立憲政治家トシテノ
態度デアラネバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ事茲ニ出デ
ザリシハ同君ノ政治家トシテノ信條ニ對シ疑ナキ能ハズデア
リマス、諸君法治國ノ特長ハ秩序ノ保持ガ根本デアリマス、
即チ規律亂ダレ、儘ニ放任サル、トキハ憲法政治ハ破壞サ
レタルモノデアリマス、其秩序ノ保持ニハ勿論各自法令ニ從
フ義務即チ自省心ガ最モ必要ナルコトハ申スマデモナイコ
トデアリ、ソレ故ニ公務ノ執行ニ對シテハ總テノ場合強ク確
保サレテ居リマス、刑法ニ於テ公務執行妨害ノ罪ヲ認メ選
舉ニ關シテモ投票ノ妨害即チ自由意思ヲ妨害スル者ガア
レバ、之ニ選舉罰ヲ以テ罰スル規定シテ居リマス、議院
政治ニ於ケル議員ノ職務ノ執行ハ更ニ重大ナルモノデアリ

マス、而モ其職務中採決權ノ行使ハ一層重大ナルコトハ申
ス迄モアリマセヌ、即チ國民ヲ代表シテ投票權ヲ行フ場合
ニ於テ、暴力ヲ以テ之ガ妨害ヲ致スコト自由ナリト致シマ
シタナラバ、如何ナル事ニナルデアリマセウカ、立憲政治ハ破滅
デアリマス、所謂議會否認ノ行デアリマス、此意味ニ於テ
中野君ノ暴行ハ國家國民ノ爲メ甚ダ危險千萬ト思ヒマス
サウシテ私ノ取りマシタ態度ハ、以上ノ信念ノ下ニ、暴行ニ
因リ投票ヲ中止スルガ如キコトハ國家ヲ危險ニ導ク分水
嶺ナリト信ジ、飽迄モ妨害ヲ排除シ投票セザルベカラズト確
信シ、危險ヲ侵シ押進シテ投票ヲ致シタ次第デアリマス、諸
君私ハ諸君ノ中ニモ立派ナ人格者ノアルコトヲ發見致シマ
シタ、私ガ翌日刑事訴訟法ノ委員會カラ出テ参リマス憲
政會ノ荒川五郎君ガアレハ僕ハ終始見テ居タ、君デハナイ
飛デモナイコトガ新聞ニ出タガ、君ガ議席ニ著イテカラアノ
騷ギノ結果中野君ガ倒レタノダト言ハレタ、賢明ナル憲政會
ノ諸君事實ヲ誣ユルコトナク事實ヲ其儘御審議下サレ、公
正ナル御判斷ヲ願ヒマス、私ハ決シテ責任ヲ迴避スルモノデ
ハナイ、事實ヲ誣イテ國民ノ前ニ虛偽ヲ傳ヘルガ如キ黨略
ヲ弄センコトスルコトハ甚ダ遺憾ニ思フ（議場騷然）ソレナ
申上ゲマス、前ノ議長不信任問題ノトキ森田君議長ノ職
權濫用デアル（議長々々アレハ何ヲ言フカ）ト呼フ者アリ
而シテ懲罰濫造ハイカヌト云フト言ヒ、其結果普選問題ニ
論及サレタ、斯ウ云フ事ヲ現ニ言ハレタカラ申スノデアル——
三木君外二名ニ對シテ懲罰ヲ直ニ宣告サルト云フコトハ、
普選問題ノ爲ニ出席スルコトヲ停止スル目的デアッタト云
フコトニ世間ガ言ウテ居ルト言ヒ、森田君ハ之ニ共鳴サレタ、
意見ガアル（其通り）ト呼フ者アリ）若シ同君ノ言フガ如ク
議長ニ濫用アリトセバ其論ハ宜イカモ知レヌガ私ハ左様ニ
ハ信ゼヌノデアリマスガ、同時ニ私ハ此論ヲナサル森田君ニ
注意ヲ致シタイ、所謂普選ハ立憲政治ノ合理的ノ歸結デア
リマセウ、其施行ノ時期ハ別問題トシテ即チ無權者ニ對シ
人格ヲ尊重セラレ責任主義ノ理解ノ下ニ民衆一般ニ選舉
權ヲ擴張スベシノ主張ヲ持セラル、急進論ヲ口ニ唱ヘル憲政
會ハ、其幹事タル中野君暴行ニ因リ投票妨害ヲ傍觀シテ
之ヲ阻止セズ、而シテ其實情明白ナルニ及ブモ尙ホ之ヲ語
ルヲ避ケテオイデニナル、斯クシテハ普選ニ對スル誠意ノ程
モ疑ナキ能ハズデアリマス、ソレデ國民ノ前ニ果シテ諸君
ハ何ノ顔ガアルデアリマセウカ（ヒヤ——）要之懲罰事犯ニ
關シテ私ノ爲シマシタ事實ハ極テ簡單デアリマス、即チ中野
君ニ對シテ暴行ヲナシマセヌ、同君ノ暴行ニヨル投票妨害
ヲ排除シタニ過ギマセヌ（拍手）

○議長（與繁三郎君） 山口義一君
（山口義一君登壇）

トハ、我議院ノ名譽ヲ毀損スルコト是ヨリ大ナルハナク（拍手）世道人心ニ……

○議長(奥繁三郎君) シレハ議事ノ進行ニ關スルコトデスカ

○田中萬逸君 重大ナル事デス...

○議長(奥繁三郎君) 重大ナル事柄デモ議事ノ進行ニ關係ナイコトハ之ヲ許シマセヌ...

○田中萬逸君議長ニ對シ發言ス

○議長(奥繁三郎君) 質問デモナサルナラハ格別ノ議事ノ進行ニハ關係ハアリマセヌ

○田中萬逸君議長ニ對シ發言ヲ續ク

○議長(奥繁三郎君) 降壇ヲ命ジマス...

○田中萬逸君 降リマセヌ

○議長(奥繁三郎君) 議長ノ命令ニ應ジマセヌカ

○田中萬逸君 降リマセヌ

○議長(奥繁三郎君) ソレデハ退場ヲ命ジマス...

○議長(奥繁三郎君) 萬逸君ニ退場ヲ命ジマス(拍手)...

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス...

○議長(奥繁三郎君) 改正法律案、日程第二北海道地方費法中改正法律案ヲ一括シテ議題ニ供シマス...

キマス(此時發言スル者アリ) 靜ニ...

第一 北海道會法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第一讀會

北海道會法中改正法律案

北海道會法中左ノ通改正ス

第一條第二項ヲ左ノ如ク改ム

選舉區ハ北海道廳支廳長管轄區域及市ノ區域ニ依ル

北海道廳長官ハ北海道會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分テテ數選舉區ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ付テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 帝國臣民ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム年齡二十五年以上ノ男子二年以來北海道内ノ同一市町村内ニ住所ヲ有シ二年以來其ノ市町村ノ費用ヲ負擔シ且北海道内ニ於テ一年以來直接國稅ヲ納ムルハキ、北海道内ニ於テ一年以來土地ヲ所有スルハキ又ハ北海道内ニ於テ直接國稅ヲ納ムル若ハ土地ヲ所有スルコト通シテ引續キ一年以上ニ及フトキハ北海道會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト見做ス

タル納稅ト見做ス

家督相續ニ依リ土地ヲ取得シタル者ニ付テハ被相續人ノ所有シタル期間ヲ以テ其ノ者ノ所有シタル期間ト見做ス

土地所有ノ期間ハ所有權ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算ス

確定名簿ニ登錄セラレタル者ハ其ノ名簿調製期日後選舉權ノ納稅要件又ハ土地所有要件ヲ闕クニ至リタル場合ト雖其ノ確定名簿據置ノ期間内仍選舉權ヲ有ス

第四條 本法ノ適用ニ付テハ町村ノ役場事務ヲ共同處理スル町村組合又ハ一戸長役場ノ所轄ニ屬スル數町村ハ之ヲ一町村、其ノ町村組合役場又ハ戸長役場ハ之ヲ町村役場、其ノ町村組合管理者又ハ戸長ハ之ヲ町村長ト看做ス

第五條中「三年」ヲ「二年」ニ改メ第五號ヲ削リ第六號ヲ第五號トシ第七號ヲ第六號トス

第六條 削除

第七條第四項ヲ左ノ如ク改ム

北海道廳若ハ北海道地方費ニ對シ請負ヲ爲シ若ハ北海道地方費ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ノ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監查役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第八條 北海道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ノ外北海道地方費ニ關シ左ノ事項ヲ議決ス

一 歳入出豫算ヲ定ムル事

二 決算報告ニ關スル事

三 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、北海道地方稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

四 不動產ノ處分並買受及讓受ニ關スル事

五 積立金穀等ノ設置處分ニ關スル事

六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

七 財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 北海道參事會ハ北海道廳長官、北海道廳高等官二人及名譽參事會會員十人ヲ以テ之ヲ組織ス

北海道廳高等官ニシテ北海道參事會會員タルヘキ者ハ内務大臣ノヲ命ス

第十條 北海道參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ北海道廳長官ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ北海道會ニ代リテ議決スル事

三 北海道廳長官ヨリ北海道會ニ提出スル議案ニ付北海道廳長官ニ對シ意見ヲ述フル事

四 北海道會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財產及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 北海道地方費支辨工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 北海道地方費ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法令ニ依リ北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項

第十一條中「北海道會」ノ下ニ「及北海道參事會」ヲ加フ

第十二條 削除

第十三條 削除

第十四條 府縣制第五條、第六條第五項第六項第八條乃至第三十八條、第四十條、第四十二條乃至第六十四條、第六十六條、第六十七條、第六十九條乃至第七十四條、第七十九條、第八十二條乃至第八十七條、第九十七條乃至第一百二十九條、第三百一十一條、第三百三十五條及第三百三十六條ノ規定ハ之ヲ準用ス但シ其ノ規定中郡トアルハ北海道廳支廳長管轄區域トシ郡長トアルハ北海道廳支廳長トシ郡役所トアルハ北海道廳支廳長トシ町村長、町村役場トアルハ北海道一級町村制及北海道二級町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戸長、戸長役場トシ其ノ第三十一條中第六條第九項トアルハ本法第七條第二項トシ其ノ第七十三條中第六十八條第二トアルハ本法第十條第二號トス

第十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十七條 本法ハ北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ勅令ヲ以テ之ヲ施行スル迄之ヲ施行セス

附則

附則

本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ規定ニ依リ準用スル選舉ニ關スル府縣制ノ規定ハ次ノ府縣會議員ノ總選舉ヨリ適用セラルル規定ヲ謂フ

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關スル期日又ハ期間ニシテ本法ニ依リ難キモノハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス
北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ本法施行ノ際急務ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間北海道廳長官之ヲ行フ
北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ要スル事項ニテ從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタルモノハ本法ニ依リ北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ經タルモノト看做ス
本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル異議、訴願又ハ訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第二 北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

北海道地方費法中改正法律案
北海道地方費法中左ノ通改正ス

第二條 北海道地方稅ニ關シテハ法律勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外府縣稅ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條 段別制ハ地租ヲ賦課セサル土地ノ所有者ニ對シテハ其ノ土地ノ民有ニ歸シタル年ノ翌年ヨリ二年間之ニ賦課スルコトヲ得ス

第四條 削除

第五條 削除

第七條 削除

第八條ノ二 北海道廳長官ハ北海道地方費ノ行政ヲ擔任ス

第八條ノ三 府縣制第七十五條乃至第七十七條、第八十條第八十一條第八十八條乃至第九十一條、第九十三條第二項、第九十四條、第九十五條第二項乃至第九十六條、第九十七條乃至第九十九條、第一百零一條乃至第一百零二條、第一百零三條乃至第一百零四條、第一百零五條乃至第一百零六條、第一百零七條乃至第一百零八條、第一百零九條乃至第一百一十條、第一百一十一條乃至第一百一十二條、第一百一十三條乃至第一百一十四條、第一百一十五條乃至第一百一十六條、第一百一十七條乃至第一百一十八條、第一百一十九條乃至第一百二十條、第一百二十一條乃至第一百二十二條、第一百二十三條乃至第一百二十四條、第一百二十五條乃至第一百二十六條、第一百二十七條乃至第一百二十八條、第一百二十九條乃至第一百三十條、第三十二條乃至第三十六條ノ規定ハ之ヲ準用ス

第八條ノ四 第二條及前條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制ノ規定及府縣稅ニ關スル規定中郡島ノ官吏吏員トアルハ北海道廳支廳ノ官吏吏員トシ町村、町村會、町村長、町村吏員トアルハ北海道一級町村制及北海道二級町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戶長役場ノ所轄區域、總代人會、戶長、戶長役場吏員トス第十條及附則ヲ制ル

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依リ定メタル段別制ハ本法ニ依リ之ヲ定メタルモノト看做ス

北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタルモノハ本法ニ依リ北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ經タルモノト看做ス
本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル異議、訴願又ハ訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

(國務大臣床次竹二郎君登壇)

○國務大臣床次竹二郎君 只今議題ニナリマシタ三案ハ、共ニ昨午ノ議會ニ於キマシテ、本院ニ於テハ御協賛ヲ得タモノデアリマス、北海道會法並北海道地方費法中改正法律案ノ改正ノ主ナル點ヲ申上ゲマスレバ、道會法ニ於テハ選舉權被選舉權ノ擴張、道會ノ權限擴張及新タニ道參事會ヲ設クル事等デゴザイマス、而シテ北海道ニ於テ特殊ノ事情ニ依ルモノ、外ハ、概ネ府縣制ニ準據スルコトニ致シマシタ、此改正ノ結果選舉權有權者ノ數ハ、現行法ニ比シテ約三倍ノ増加ト相成リマス、又地方費法ニ於キマシタ今日マデ極テ大綱ヲ規定シテアリマシテ、其他重要ナル事項ハ地方費令及單行勅令ヲ以テ定メテゴザイマシタ、此度ハ之ヲ地方費法中ニ統一スルコトニ致シマシタ、大體府縣制ノ規定ニ準據スルコトニ致シタルモノデアリマス、御承知ノ如ク此現在ノ北海道ニ於ケル制度ハ、明治三十四年ニ制定セラレマシテ、爾來拓殖ノ進捗ト共ニ戶口ノ増加、生産ノ増加、民度ノ發展、大ニ面目ヲ改メテ居ル次第デゴザイマス、今日ノ時代ニ相當シテ選舉權ノ擴張ヲ致シ、其外制度ノ改正ヲ致シマスコトハ、最も適當ナリト考ヘマシタ次第デゴザイマス、市制中改正法律案ハ、是亦昨年市制中改正法律案中ニ本案ト同様ノ規定ヲ置キマシタルデアリマス、ガ北海道會法ガ貴族院ニ於テ審議未了ト相成リマス、度ラレマシタ爲ニ成立タナカッタデゴザイマスガ、案ノ内容ヲ申上ゲマスレバ極テ簡單デ、北海道ニ於ケル區ニ内地ニ於ケルト同様ナル市制ヲ施行致シタコト云フデゴザイマス、是亦今日彼地ニ於ケル狀況カラ申シマスレバ、極テ適當ナル事ト考ヘマスノデ御協賛ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、砂田君

(砂田重政君登壇)

○砂田重政君 本員ハ只今提案サレマシタル法律案中ニ於ケル北海道地方費ニ關スル法律案ニ牽聯ヲ致シマシタ事項ヲ、簡單ニ質問ヲ致シタコト思フデアリマス、北海道地方費ニ關スル法律ハ、地方ニ於ケル地方稅ニ依リテ北海道ノ事業ノ開拓設計ヲ計畫サルベキ法律案デアリマス、而シテ殊ニ土木及勸業ニ付テノ最も重キヲ置カレタル法律案デアリマシテ、北海道ニ於ケル地所ノ整理、或ハ耕地ノ開墾

ノ如キモ、多クハ此地方費ニ依リテ整理サレ、經營ヲサレテ居ルデアリマス、本員ハ豫算委員會ニ於テ今日マデ北海道ニ於ケル山林原野、或ハ畑地牧場等ガ政爭ノ具ニ供セラレ、殊ニ貴族院操縦ノ爲ニ使用サレテ居タルコト云フガ如キ噂ヲ承クンデアリマス(拍手)茲ニ於テ豫算委員會ニ於テ北海道廳長官ノ對シ、是等ノ山林原野等ノ拂下ヲ受ケタル人名及其反別ヲ明ニ提示シテ裁キタコト云フ事ヲ要求シタルデアリマス、之ニ對シテ豫算總會終了ノ後デアリマシタケレドモ、政府ハ其中ノ畑地及牧場ニ對シテ拂下シタル部分ダケハ之ヲ提供サレタルデアリマス、併ナガラ吾々ノ最も大キナ噂ヲ聞イテ居リマス、山林、或ハ林木ノ拂下ニ對シテハ、未ダ何等ノ書類ノ御提供ヲ受ケテ居ラヌ、是ハ遠カラズ北海道長官ニ於テ御提出下サルコトハ信ジテ居リマスガ、成ベク速ニ御提出ヲ希望スルモノデアリマス、ソコデ御提出ヲ願ウタ大正八年及九年十年、此三箇年間ニ於ケル畑地及放牧場ノ拂下セラレタル人名、及其拂下ノ反別ヲ拜見致シマス、其中ニ最も莫大ナル地所ノ拂下ノ中ニ於テ、大正十三年三月二十四日東京府ノ大木遠吉ト云フ人ニ拂下ニナリタルデアリマス、ソレカラ東京府ノ清棲家教ト云フ人ニ三月三十日ニ拂下ニナリタル居ル、又福島縣ノ立花種忠ト云フ人ニ對シテ、大正十年二月二十五日ニ拂下ニナリタル居ル、大正九年三月三十一日ニハ東京市ノ金杉英五郎ト云フ人ニ拂下ニナリタル居ル、大正十年三月十七日ニハ京都府ノ杉溪言長ト云フ人ニ拂下ニナリタル居ル、大正九年五月二十日ニハ東京市ノ名和長憲、ソレカラ大正十年一月二十二日ニハ男爵太泰供康、大正十年七月十六日ニハ東京市島津久賢、大正八年二月二十四日ニハ東京市小川平吉(拍手)大正十年四月二十七日ニハ熊本縣細川護立(拍手)斯ウ云フ人ニ拂下ニナリタル居ル分ガ殆ド此拂下中ニ於ケル大キナ段別ヲ爲シテ居ルデアリマス、是ニ於テ私ノ伺ヒタコト思ヒマス、ハ、此細川護立ト云フ人ハ熊本縣ノ人トナリテ居リマス、侯爵ノ細川護立デアリマス、小川平吉ト云フ人ハ現ニ此政府ノ要路ニ立テ居ラレマス、國勢院總裁ノ小川平吉君デアリマス、島津久賢ト云フ人ハ貴族院議員ノ公正會ニ居ラル、男爵ノ島津久賢ト云フ人デアリマス、(拍手)太泰ト云フ人ハ男爵デアリマス、此人ニ間違ナシト思ヒマス、名和長憲ト云フ人ハ毛矢張公正會ノ男爵ノ名和長憲君デアリマス、又杉溪言長ト云フ京都府ノ人ト云フハ、貴族院議員ヲ致シテ居リマス、男爵ノ杉溪言長デアリマス、立花種忠ト云フ人ハ研究會ニ席ヲ置イテ居リマス、爵ノ立花ト云フ人デアリマス、清棲家教ト云フ人モ研究會ニ席ヲ置カレタ、貴族院議員伯爵ノ清棲家教ト云フ人デアリマス、東京府ノ大木遠吉ト云フ人ハ是モ研究會ノ中堅ノ人デアリ、現ニ司法大臣ヲ勤メテ居ラレマス、大木遠吉君ノ事デアリマス

カ(拍手)是等ノモノハ畑地若クハ放牧場——大木君ノ拂下ヲ受ケラレマシタル地所ハ大正十年三月二十四日、即チ昨年ノ議會ノ終了ヲセントスル時デアリマス、昨年ノ議會ニ於テ大木君ハ鈴木君ノ質問、或ハ其他ノ發言中ニ馬ヲドウトカシタト云フ問題デ非常ニ憤慨ヲサレテ、馬ヲ買ヒタナドト云フコトハ斷ジテ無イト云フコトヲ此演壇デ述ベラレタノデアリマス、此大木遠吉君ガ大正十年三月二十四日ニ北海道ニ於テ莫大ナル放牧場ヲ御求メニナタト云フコトハ、或ハ現ニ大臣ヲサレテ居ル此大木君ガ馬ヲ御買ヒニナタノデナイカト云フ疑ヲ懷イタノデアリマス(拍手)併ナガラ吾等ハ現ニ司法ノ要職ニ居ラレル大臣ヲシテ居ル人ガ、斯様な政府ノ所有ニ屬スル——國ノ所有ニ屬スル地所ノ拂下ヲ受ケラレルガ如キ、手盛ヲヤルヤウナ事ハ吾等ハ爲サルマイト云フノデアリマス(ヒヤ)「拍手」故ニ先ヅ北海道長官、若クハ内務大臣ヨリ、此人ハ只今私ノ疑ヲ懷キマシタ如キ貴族院議員ニ屬スル人デアルカ、或ハ同名異人デ全ク違フ人デアルカト云フコトヲ、此際明瞭ニ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス(拍手)此事ハ北海道地方費ノ中ニ於テ、北海道ノ所有地ニ對スル開拓事業ハ大部分ハ此地地方費ニ依ツテ爲サレテ居ルノデアリマス、然ルニ此地地方費ニ依ツテ開拓サレツ、アル地所ノ中ニ、斯ノ如キ大キナ地所——此地所ノ總計ヲ合セマスルト約三四千町歩ニ互ツテ居ルノデアリマス、此多數ノ地所ヲ全ク開拓スル事業家ニアラザル者ニ拂下ゲルト云フコトハ、吾等ノ洵ニ其間ニ疑ヲ懷カナレバナラス點デアアル(拍手)故ニ此點ニ對シテハ吾等ハ是ハ願クバ貴族院議員ノ斯様ナ人ニデナイコトヲ希望スルノデアリマスルガ、政府ハ御調ベノ結果ニ依ツテ此人ハ貴族院議員ノ只今伺ヒタ人ニデアルカドウカト云フコトノ御答ヲ承テ置キタイト思フノデアリマス(拍手起ル)

○國務大臣床次竹二郎君登壇

○國務大臣(床次竹二郎君) 只今、砂田君ノ御質問ノ中、初ニアリマシタルハ土地ノ拂下デ、森林ノ拂下ハナイト仰シヤタノデアリマス、其答辯ガナイト云フノデスカ(砂田重政君「林木ノ拂下森林ノ拂下ガナイ」ト呼フ)今長官ニ質問シテ見マシタガ、御要求ガ土地ノ拂下ノミト考ヘタ爲ニ左様ナ御答ヲシタト云フコトデアリマス(「ノー」ト呼フ者アリ)是ハ別ニ置スコトデモ何デモナイコトデスカ、ソレガ云レバ更メテ差上ゲルノ何モ差支ナイコトデスカ、ハサウ云フ御答デアラタトスレバ、尙ホ調ベテ御答ヲスルト云フコトデアリマス、ソレカラ段々人名ヲ舉ゲテ御尋デ、是ハ取調ベタ上ニ御答ヲ致シマセウガ、併ナガラ元來北海道ノ土地拂下ニ付テハソレノ規定ガゴザイマス、其規定ニ當テハ願書ヲ出シタモノデアデ、相當ナリト審査スル時ニ於テハ、何人タルヲ問ハズ拂下ゲルノデアリマス(拍手「ノウ」ト呼フ者アリ)而シテ若シ不都合ナ事ガアレバ取上ケル規定マデモソレト、附イテ居ルノデアリマス、拂下ゲル方カラ申セバ人ノ何人タルハ問フコトハゴザイマセヌ、念ノ爲ニ此事ハ申上ゲテ置キマス議員ノ何カ操縦ノ爲ニ拂下ゲタ如キ御言葉ガアリマシタガ、私トシテハ左様ナ考ハ毛頭持テマセヌ、恐ラク長官ニ於テモ其通りト考ヘラルガ(拍手)何カ確トシカ證據ヲ舉ゲテ御話デモアレバ(證據ハ今舉ゲタデヤナイカト呼フ者アリ)其事ハ取調ベマセウ、左様ナ特ニ事實ヲ舉ゲテ御話ガアレバ、併ナガラ今申ス如ク拂下ニハソレノ規定ガアレバ、其規則ニ當テモソレハ詮議ヲシテ處置スルノデアリマス、何等此間ニオカシイ事モ何モナイノデスカ(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 右兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指名アランコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四、市制中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第四 市制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

市制中改正法律案

市制中左ノ通改正ス

第七十七條 本法中府縣、府縣制、府縣知事、府縣參事會、府縣名譽職參事會、府縣高等官、所屬府縣ノ官吏若ハ有給吏員、府縣稅又ハ直接府縣稅ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各地方費、道會法、道廳長官、道參事會、道名譽職參事會、道廳高等官、道廳ノ官吏若ハ地方費ノ有給吏員、北海道地方稅又ハ直接北海道地方稅、町村又ハ町村會ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各町村又ハ町村會ニ該當スルモノニ關シ之ヲ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道ノ區ヲ廢シテ市ヲ置カントスルキハ第三條ノ例ニ依ル

○議長(奥繁三郎君) 此日程ニ對スル說明ハ第一、第二ノ時ニ附加ヘテ内務大臣ヨリ既ニ說明サレマシタ、故ニ重ネテノ說明ハアリマセヌ、仍テ日程第五ニ移リマス、日程第五

五、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ日程第一、政府提出北海道會法中改正法律案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六、農會法案ノ第一讀會ヲ開キマス

第六 農會法案(政府提出) 第一讀會

農會法案

農會法

第一條 農會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 農會ハ法人トス

第三條 農會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

一 農業ノ指導獎勵ニ關スル施設

二 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設

三 農業ニ關スル研究及調査

四 農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

五 其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

第四條 農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 農會ハ農業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第六條 行政官廳ハ農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ命スルコトヲ得

第七條 政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第八條 農會ハ町村農會、市農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會トス

第九條 農會ノ地區ハ町村農會ニ在リテハ町村又ハ町村組合、市農會ニ在リテハ市、郡農會ニ在リテハ郡又ハ島司ヲ置キタル島嶼、道府縣農會ニ在リテハ道府縣、帝國農會ニ在リテハ内地ノ區域ニ依ル特別ノ事由アルキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第一項ノ區域ニ増減アリタルキハ其ノ區域ヲ地區トスル農會ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

町村カ市ト爲リタルキハ其ノ町村ノ區域ヲ地區トス

市制中改正法律案 第一讀會

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(奥繁三郎君) 此日程ニ對スル說明ハ第一、第二ノ時ニ附加ヘテ内務大臣ヨリ既ニ說明サレマシタ、故ニ重ネテノ說明ハアリマセヌ、仍テ日程第五ニ移リマス、日程第五

市制中改正法律案 第一讀會

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(奥繁三郎君) 此日程ニ對スル說明ハ第一、第二ノ時ニ附加ヘテ内務大臣ヨリ既ニ說明サレマシタ、故ニ重ネテノ說明ハアリマセヌ、仍テ日程第五ニ移リマス、日程第五

ル町村農會ハ市農會ト爲リタルモノトス

第十條 農會ノ名稱ニハ町若ハ村農會、市農會、郡農會、道府若ハ縣農會又ハ帝國農會ナル文字ヲ用井ルヘシ但シ農會ノ地區カ町、村、市、郡、道府又ハ縣ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ此等ノ區域ヲ示スヘキ文字ヲ用井サルコトヲ得

本法ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲クル文字ヲ用井ルコトヲ得ス

第十一條 農會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ國、公共團體及命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除ク外其ノ地區内ノ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者、郡農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ町村農會、道府縣農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ市農會、郡農會及市農會ノ會員ニ非サル町村農會、帝國農會ニ在リテハ道府縣農會ヲ以テ其ノ會員トス

第十二條 農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

町村農會及市農會ニ在リテハ前項ノ同意ヲ爲シタル者ノ所有シ又ハ占有スル其ノ地區内ノ耕地、牧場及原野ノ面積ハ私用ニ供スル其ノ地區内ノ耕地、牧場及原野ノ面積ノ二分ノ一以上ナルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ此ノ條件ニ依ラサルコトヲ得

第十三條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ農會ノ會員タルヘキ農會ハ其ノ總會ニ於テ創立委員各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ但シ道府縣農會ヲ設立スル場合ニ於テ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ヲ選任スル創立委員ノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 町村農會及市農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ其ノ役員並其ノ組織スヘキ農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ヲ、其ノ他ノ農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ創立委員中ヨリ其ノ役員並其ノ組織スヘキ農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ヲ選任スヘシ但シ第二十七條第二項但書及第三項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 農會ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時成立ス第十六條 農會成立シタルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總會ノ之ニ加入シタルモノト看做ス但シ行政官廳カ特別ノ事由ニ依リ加入ノ必要ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 農會ニ總會ヲ置ク

總會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會長副會長及會員其ノ他ノ農會ニ在リテハ會長副會長議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ議員ハ其ノ農會ノ會員タル農會ニ於テ各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ但シ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ヲ選任スル議員ノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

郡農會、道府縣農會及帝國農會ノ設立ノ場合ニ於テハ創立委員其ノ農會ノ議員ト爲ル

第十八條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ會員タル農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫備議員各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ

豫備議員ハ議員事故アルトキハ之ヲ代理シ議員闕ケタルトキハ議員ト爲ル

前條第三項但書ノ規定ハ豫備議員ニ付之ヲ準用ス

第十九條 行政官廳ハ農業ニ關スル學識經驗アル者ヲ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ特別議員ニ任命スルコトヲ得

特別議員ノ員數ハ議員定數ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

一 收支豫算
二 經費ノ分賦收入方法
三 事業報告及收支決算
四 借入金
五 基本財産ノ造成、管理及處分
六 會則ノ變更
七 役員、議員及豫備議員ノ選任及解任
八 第十二條第一項 第二十四條第二項及第三十五條ノ同意

前項第一號、第二號、第四號及第六號ニ掲クル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十一條 總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ組織スル者ハ其ノ總會ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項ヲ招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

會長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依リ請求アリタル後十四日以内ニ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ總會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ行政官廳ハ會員又ハ議員若ハ特別議員ヲ指定シ

テ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十二條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十三條 總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條 會則ノ變更ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

會則ノ變更カ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依リ議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラルヘキ區域内ノ會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十五條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ其ノ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得但シ町村農會及市農會ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 町村農會及市農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ヲ置キ總會ニ代フルコトヲ得

總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ選舉シタル總代ヲ以テ之ヲ組織ス

總會ニ關スル規定ハ總會ニ付之ヲ準用ス

第二十七條 農會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人
副會長 一人
評議員 數人

役員ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會員中ヨリ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ規定ニ依リ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 會長ハ農會ヲ代表シ會務ヲ總理ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ並會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス
第二十九條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ會長

之ヲ專決處分スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得
町村農會及市農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得

町村農會及市農會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ會長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ農會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ
前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴訟及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得
前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十二條 行政官廳ハ農會ニ對シ會務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、會務執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、會則收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ヲ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳ハ農會ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員若ハ特別議員ヲ解任シ、議員豫備議員若ハ總代ノ改選ヲ命シ、農會ノ事業ヲ停止シ又ハ農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十五條 農會解散又ハ合併ヲ爲サシムルコトハ其ノ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得、道府縣農會ニ在リテハ向其ノ會員タル郡農會及市農會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且合併ノ場合ニ於テハ會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ
農會分割ヲ爲サシムルコトハ前項ノ規定ニ準スル同意ノ外分割ノ各農會ノ會員又ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得農會ノ權利義務ノ限度ヲ定メ且會則ヲ豫定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

認可ヲ受クヘシ

第十二條第二項、第十三條乃至第十五條及第十七條第四項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 合併後存續スル農會又ハ合併ニ因リテ設立シタル農會ハ合併ニ因リテ消滅シタル農會ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル農會ハ前條ノ規定ニ依リテ定リタル限度ニ於テ從前ノ農會ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十七條 農會ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第三十八條 農會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ會則ニ別段ノ規定アルトキ又ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳清算人ヲ選任ス清算人關ケタルトキ亦同シ

第三十九條 清算人ハ農會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條 行政官廳必要ト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第四十一條 本法ニ於テ市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトシ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
明治三十二年法律第百三號農會法ハ之ヲ廢止ス
明治三十二年法律第百三號農會法ニ依リ設立シ本法施行ノ際現ニ存スル農會ハ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

本法施行ノ際現ニ前項ノ農會ノ役員、議員、豫備議員又ハ特別議員ノ職ニ在ル者ハ其ノ任期中仍其ノ職ニ在ルモノトス

(國務大臣(男爵山本達雄君)農會ノ我國農業界ニ於テ爾重要ナル事ハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、而シテ將來ヲ考ヘマスニ、時勢ノ推移ハ農業ノ發達ヲ一ニ政府ノ勸業行政ニ依ラシムルヲ許サレナイヤウナルコトニ相成リマシタ、農業者ノ自治の發達ニ俟ツ所ノ益、大ナラントスル傾向デアリマス、殊ニ此食料問題、農村社會問題等我國ノ最

モ重要ナル問題ニ關シマシテ、今後農會ノ活動ヲ要スルモノガ、益、緊切ナルニ至ッタノデアリマス、然ルニ此現行農會法ハ明治三十二年ノ制定ニ係リマシテ、既ニ二十有餘年ヲ經過シテ居リマス、時勢ノ進運ニ伴フコト能ハズ、運用上不便少カラヌデアリマス、政府ハ年來此農會ノ現狀ヲ調べ、更正ヲ一更新スベキ其要項ヲ詳カニスル爲ニ慎重ニ調査ヲ致シマシテ、茲ニ本案ヲ提出致シタル所以デアリマス、而シテ其要項ノ大略ヲ申上ゲマス、從來重要事項ヲ命令ニ讓テアリマスモノガ甚ダ多クデアリマスカラシテ、此度新ニ農會法ト云フモノヲ制定スルコトニ致シマシタ、ソレカラ公法人タルコトヲ明ニスル爲ニ左ノ條項ヲ設ケタノデアリマス、第一ニ農業ノ指導獎勵ニ關スル施設、第二ニ農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設、第三ニ農業ニ關スル研究及調査、第四ニ農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁、其他農事ノ改良發達ヲ圖ルニ重要ナル事業、尙ホ農業者ノ多年ノ此要望デアリマス、左ノ二項ヲ制定スルコト、致シマシタ、即チ市町村農會ヲシテ滯納經費ノ強制徵收ヲ、市町村長ニ請求スルヲ得セシメルコトヲ云フコトデアリマス、又市町村農會ニアリテ會員ヨリ選任致シタル補助金ハ三十二年來十五萬圓ノ限度ト致シテ居リマシタ、此度ハ此豫算ノ範圍内ニ於テ交付シ得ルコト、改メマシタノデアリマス、其他現行法令ノ規定ヲ、必要ニ應ジテ相當變更スル規定ヲ設ケタノデアリマス、從來ノ農會法ニ依リ設立シタル現存農會ハ、新法ニ依リテ設立シタルモノト見做スコトニ致シタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 日程第七右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勲君 委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指名アラシムコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ 日程第八、朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス 川村政府委員

第八 朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案 朝鮮醫院濟生院特別會計法中左ノ通改正ス

官報號外 大正十一年二月十七日 衆議院議事速記録第十三號 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 朝鮮醫院濟生院特別會計法中改正法律案 第一讀會

一五九

第二條中「百十四萬圓」ヲ「百二十六萬圓」ニ改ム

〔政府委員川村竹治君登壇〕

○政府委員(川村竹治君) 本案ハ朝鮮ニ於ケル慈惠病院ノ増設其他ノ事由ニ依リマシテ、朝鮮醫院及濟生院特別會計ニ屬スル所ノ歳出ノ増加ニ件ヒマシテ、其財源補充ノ爲ニ同特別會計ニ對スル政府ノ支出金ヲ増加セントスルモノデアリマス、極テ簡單ナルモノデアリマスカラ、速ニ御協賛アラント希望致シマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第九、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題トシマス

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君

委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名アラント希望シマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十、第十一ハ關聯セル議案デアリマスカラ、一括議題ニ供スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ第十、大學特別會計法中改正法律案、第十一、大正八年法律第十二號中改正法律案、兩案ヲ一括シテ議題トシマス、第一讀會ヲ開キマス——中橋文部大臣

第十 大學特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

大學特別會計法中改正法律案

第二條中「二百九十五萬三千三百五圓」ヲ「二百九十八萬四千八百五圓」ニ、

「二百七十一萬五千四百二十八圓」ヲ「二百七十五萬六千五百三十八圓」ニ改ム

附則

本法ハ大正十一年度ヨリ之ヲ施行ス

第十一 大正八年法律第十二號中改正法律案

案(政府提出)

第一讀會

大正八年法律第十二號中改正法律案

大正八年法律第十二號中左ノ通改正ス

「二百四十七萬圓」ヲ「二百七十七萬圓」ニ、

「二百六十五萬五千二百圓」ヲ「二百四十八萬八千六百二十二圓」ニ改ム

〔國務大臣中橋德五郎君登壇〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 此二ツノ議案ハ關聯致シテ居リマスカラ同時ニ説明ヲ申上ゲマス、是ハ大學ノ特別會計資金ノ繰入レ並ニ略、同性質ノ法律、大正八年ノ法律第十二號ニ一般會計ヨリシテ特別會計ニ資金ヲ繰入レル法案デアリマス、此金ハ既ニ總豫算ニ於テ議決ニナタモノデアリマス、其事柄ハ東京、京都、兩帝國大學ニ於キマシテ、從來從事シテ居リマスル所ノ助手其外ノ者ノ俸給が安クアリマシタカラ、今回其平均額ヲ増加致シマシタ、又京都ノ大學ニ於キマシテ植物科ノ設備ヲ致シマシタ、之ニ要スル職員ノ經費ヲ繰入レル必要ヲ生ジタデアリマス、之ガ大學特別會計法ノ改正ヲ要スル所以デアリマス、今一ツハ京都、東京、兩帝國大學ノ法學部ノ擴張ヲヤテ居リマスガ、其經費ガ物價騰貴ノ爲ニ不足ヲ來シマシタ、今回總豫算ニ於テ其増額ヲ請求致シマシタ、其増額ヲ今回繰入レル譯デアリマス、尙ホ其外ニ植物園ノ創設ノ經費モ僅カデアリマスルガ繰入レルコトニナシテ居リマス、洵ニ簡單ナル改正ノ法律案デアリマス、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛ヲ與ヘラレント希望致シマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 右兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題トシマス

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君

日程第十及第十一ノ兩案ヲ一括シ、日程第八朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレントコトヲ望ミマス

〔贊成「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、依テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十三森林資金特別會計法廢止法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、神野大藏次官

第十三 森林資金特別會計法廢止法律案

案(政府提出)

第一讀會

森林資金特別會計法廢止法律案

森林資金特別會計法ハ大正十年度限り之ヲ廢止ス

森林資金特別會計三屬スル資金及債權ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシム

〔政府委員神野勝之助君登壇〕

○政府委員(神野勝之助君) 曩ニ國有林野特別經營ノ爲ニ、森林資金特別會計ト云フモノガ設テラレマシタ、國有林野ノ實況ヲ調査致シマシテ、將來國有トシテ保存ヲ要シナイモノハ、之ヲ賣拂テ、其收入ヲ以テ森林資金ト致シマシテ、其資金ヲ財源トシテ、林野ノ特別經營ヲ致シテ參シタデアリマス、然ルニ其事業ノ成績ハ、所期以上ノ效果ヲ收メマシテ殆ド終了ヲ告ゲマシタデアリマス、ソレ故ニ森

林資金特別會計法ハ、之ヲ存置スル必要ガ無クナタノデアリマスカラ、大正十年度限り之ヲ廢止致シマシテ、其資金並ニ財源ハ之ヲ一般會計ニ引繼ガウト云フ案デアリマス、御審議ノ上、御協賛ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 日程第十四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君

本案ハ政府提出朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレントコトヲ望ミマス

〔贊成「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス(「異議ナシ」ト呼フ者アリ) 依テ動議ノ如ク決シマシタ——第十五、第十六ハ同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト致スニ御異議アリマセヌカ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ) 御異議ナイト認メマス、依テ一括議題ニ供シマス、日程第十五、酒造稅法中改正法律案、日程第十六、織物消費稅法中改正法律案ヲ一括シテ、其ノ一讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、友常君

第十五 酒造稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(委員長報告)

報告書

一酒造稅法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年二月十五日

酒造稅法中改正法律案委員長 友常君三郎

衆議院議長奥繁三郎殿

第十六 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(委員長報告)

報告書

一織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告也

大正十一年二月十五日

織物消費稅法中改正法律案委員長 友常君三郎

衆議院議長奥繁三郎殿

○友常穀三郎君 酒造稅法中改正法律案ノ委員會ノ經

過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此改正ノ要旨ハ、
清酒ハ是迄洋引竝ニ貯藏減ニ對シマシテ、百分ノ五ノ所ヲ
改正案ニ於テ百分ノ七ト致シマシテ、味淋ハ是迄百分ノ
二ノ所ヲ百分ノ三ト致シ改正案ノ要旨デアリマス、然ルレ
ノ控除ヲ爲スト云フガ、是ガ改正案ノ要旨デアリマス、然
ルレタガ、燒酒ニ對シマシテハ、此洋引竝ニ貯藏減ニ於
キマシテ、政友會ノ日野君カラ希望ガアリマシテ、即チ
是迄實驗ノ結果燒酎ハ洋引竝ニ粕減ニ於テ百分ノ六内外ノ減リガアル
ト云フコトヲ申サレマシタ、仍テ政府ニ於テ此際少ク
トモ味淋ニ對スル控除分量ノ如ク、即チ三分ノ控除減
ニシテ貰ヒタイト云フコトデゴザイマシタガ、政府ニ於
キマシテハ、是ハ二箇年餘ニ亙ル實地調査ノ結果、斯
ノ如ク定メタ法案ナルヲ故ニ、此原案ヲ主張サレ
タ次第デアリマス、日野君ニ於キマシテハ、希望條
件トシマシテ、即チ燒酎製造所ニ於キマシテモ、尙ホ
一層ノ研究ヲシ、政府ニ於キマシテモ嚴密ナル調
査ヲ重ネテ若シ果シテ二分以上ノ洋引竝ニ粕減ガ
アツタナラバ、之ニ對シテ相當ノ考慮ヲ爲スト云フ
希望條件ノ下ニ御報告申上ゲマス（拍手起ル）
諸君是ヨリ織物消費稅法中ノ改正法律案ノ委員會
ノ經過竝ニ結果ヲ極メテ簡單ニ上ゲマス本案ノ改
正ノ要旨ハ、織物消費稅徵收事務ノ補助ヲ爲ス織
物組合ニ對スル交付率ヲ、現行法ニ於テハ法律ヲ以
テ制定致シマシタモノヲ、命令即チ勅令ヲ以テ之
ノ規定ニシテ現行法ノ率ハ、課稅價格ノ千分ノ一
ノ交付デアリマシタデゴザイマス、然ルニ其命令
即チ勅令ノ内容ハ、課稅價格ノ萬分ノ八、而シテ
其取扱點數毎五百點ニ對シマシテ、一圓ニ相當ス
ル所ノ交付金ヲ交付スルト云フノガ、即チ勅令
ノ内容デゴザイマスデス、此毎五百點ニ對シ
一圓ノ交付金ヲ爲スト云フ此理由ハ、是迄價格少
キモノハ、即チ木綿等ノ如キモノハ、點數ヲ多ク
シテ、實ニ組合ニ於キマシテハ繁雜ヲ極メ、隨
テ費用ノ巨額ヲ要シ、加フルニ價格ガ少ナ
キガ故ニ、組合ノ費用ヲ辨ズルコトガ出來
ナイト云フコトデゴザイマシテ、政府ニ於
テ之ヲ考慮シテ、毎五百點ニ對シマシテ、一
圓ニ相當スル所ノ交付金ヲ交付スルト云フ
次第デアリマス、此委員會ニ於キマシテ二三ノ
質問應答ヲ、諸君ノ參考ニナルベキコトヲ御
報告申上ゲタイト思フ、憲政會ノ織物ノ根
本義ヨリ議論ヲ出發致サレマシテ、即
チ織物ノ定義ニ論及致サレマシタ、今日政府
ニ於テ織物ト

稱スルモノハ、如何ナル物ヲ以テ織物ト爲スカニ云フ、此定義ヲ質問ニナリマシタデゴザイマシタ、先ヅ近イ例ヲ取りゴスト云フト、白縮緬モ織物デアリ、之ニ染色加工ヲ施シ、或ハ刺繡ヲ致シタモノニ對シテモ、是モ即チ織物デアル、然ルニ販賣ノ價格、即チ市價ハ白縮緬一反ニ對シマシテハ、引取價格ヲ十圓ト致シマスと云フト、之ニ染色加工ヲ加ヘマシタナラバ、或ハ友禪トナリ、或ハ其他ノ品物ニ變テ參リマスガ、是ハ價格ガ七八十圓若クハ百圓以上ノ價格ニモナリマスデスガ、然ルニ政府ノ引取價格、即チ當初ノ査定價格、即チ十圓ニ相當スル税金ヲ今日取ツテ居ル次第デアデ、即チ織物ノ消費稅ニ對シテ徵收スル所ノ税金ニ不公平ガアル、此際政府ニ於テ根本の改良ヲ爲シ、即チ税金取立法ニ於テ、或ハ又税金ノ率ニ於テ、改正ヲスル意思ガアルヤ否ヤト云フコトヲ、憲政會ノ飯塚君ヨリ御質問ガアリマシタ、政府委員ノ御答辯ハ、飯塚君ハ其道ノ達人デアル、且ツ其道ニ於テハ色ニ研究ヲナスツテ、即チ私が飯塚君ニ對シ御答辯ヲ致スノハ、恰モ釋迦ニ說法ヲ爲スガ如キ感ガアルト云フ前提ノ下ニ、獨リ織物ノミナラズ、色ニナ物件ニ於テモ、斯ノ如キ不完全ト認ムル所ノ憾ガアル稅率ガアリマスガ、是ハ此白縮緬ニ對シテ税金ヲ取立テ、或ハ友禪ト姿ガ變テカラシメ、是モ價格ガ違フカラ税金ヲ取立テル、或ハ之ニ對シテ刺繡ヲ施ス、是ニモ價格ガ違フカラ特別ノ稅ヲ取ルト云フガ如キコトデハ、税金徵收ノ方法繁雜ヲ極メテ、實際ニ於テ行フベヘカラザルコトデアルカラシテ、是ハ今日ノ場合、何分出來難イノデアアル、併ナガラ財政經濟調査會ト云フモノ、設立ニナリマシテ、其會ニ於キマシテ、專ラ斯ノ如キ不完全ナリト認ムル所ノモノニ對シ、熱心ニ調査致シテ居リマスカラ、最モ近キ將來ニ於テ具體的ノ案ヲ備ヘテ、諸君ノ御満足ノ行クガ如キヤウニ取計フコトヲ期待シテ居ルト云フ答辯デゴザイマシタ、政友會ノ竹上君ハ、勅令ヲ以テ交附金ノ率ヲ定ムルト云フコトハ、是マデ法律ヲ以テ制定シタ所ノモノヲ斯ノ如ク致ス時ニハ、議會ノ權能ヲ縮少致スヤウナ憾ガアル、ソレハ如何カト云フコトヲ政府委員ニ質問サレマシタ所ガアル、政府委員ノ辯明ハ、法律ヲ勅令ニ改メタ例ハ、是マデ幾ラデモアル、要スルニ法律ヲ勅令ニ改正スルコトハ、行政上ノ繁雜ヲ避ケ、即チ緩急其度ニ應ジテ行政上ノ處分ヲ行フ、近キ例ヲ舉ゲマスと云フト、織物組合ニ於キマシテハ、一定ノ法律ヲ以テ千分ノ一ナラバ一ト決メテ居リマスガ、或ル場合ニ或ル所ニ於キマシテハ、ソレデハ組合ノ費用ガ取レナイ而已ナラズ税金ノ徵收ノ機關トシテ活動スルコトガ不可能デアルガ故ニ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、行政上ノ手心ヲ以テ臨機應變ノ處置ガ出來ルカラ、政府ニ於テモ亦民間ニ於テモ、非常ナル便宜ト考ヘルガ故ニ、勅令ヲ以テ規定ス

ル次第デアルト云フコトニ辯明ガゴザイマシタ、尙ホ政友會ノ竹上君ノ發議ニ依リマシテ、勅令ノ内容ヲ改メマシテ、交付金ハ現行ノ如ク千分ノ一、即チ勅令ノ内容ハ万分ノ八デゴザイマスガ、現今ノ如ク千分ノ一ト致シ、加フルニ勅令ノ内容ノ如キ毎五百點ニ對シマシテ一圓ノ交付金ヲ交付スルト云フコトヲ發議致サレマシタ、幸ニ政府ニ於キマシテモ之ニ對シテ同意ヲ表セサレマシテ、此勅令ノ内容ハ毎五百點ニ對シ一圓ニ相當スル交付金ヲ交付シ、併セテ今日マデ行ヒシ如ク千分ノ一ニスルト云フ此條件ヲ以チマシテ、原案ヲ贊成致サレタ次第デゴザイマス、尙ホ憲政會ノ津原君ヨリ政府ニ對シテ質問ガゴザイマシタ、ソレハ十一年度ノ豫算ニ依リマスと云フト、織物消費稅ハ増額ニナッテ居リマス、即チ一千萬圓内外ノ増額ニナッテ居リマスガ、是ハ査定價格ヲ引上ゲルカ、若クハ稅率ヲ引上ゲルコトガ有ルカ無イカト云フコトヲ念ヲ押サレタノデアリマス、然ル所政府ニ於キマシテハ、稅率ヲ上ゲ或ハ査定價格ヲ上ゲルト云フ如キコトハ斷然無イト云フコトヲ明言致サレマシタ、討論ノ結果、之ヲ起立ニ問ヒマシタ所ガ、滿場一致ヲ以テ原案ヲ贊成致サレマシタ次第デゴザイマス、此段御報告致シマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 右兩案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リヲ致シマス

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認

メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 日程第十五及第十六ノ兩案ヲ一括シテ直

二其第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告

通り可決確定アランコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ日程第

十五、第十六兩案ノ二讀會ヲ開キマス

—

酒造税法中改正法律案 第二讀會（確定議）

織物消費稅法中改正法律案

第二讀會（確定議）

「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、委員長報告

通可決確定致シマシタ（拍手）日程第十七、國有財産整理

資金特別會計法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、櫻内幸雄

君缺席デゴザイマス、吉良君

—

[illegible]

修正法律案 第二議會(確定議) 二六二

第十七 國有財産整理資金特別會計法案

(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一國有財産整理資金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年二月十三日

國有財産整理資金特別會計法案委員長

衆議院議長奥繁三郎殿

櫻内 幸雄

〔吉良元夫君登壇〕

○吉良元夫君 只今上程致サレマシタ法案ノ委員長櫻内君ガ本日ハ缺席サレマシタカラ、私ヨリ代テ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ヲ開キマシタルコト三回デゴザイマシテ、此委員會ニ於ケル質問應答ハ、諸君ノ御手許ニ廻ハサレテ居リマス所ノ筆記ニ詳シクゴザイマスカラ、是ハ省キマス、而シテ國有財産整理資金特別會計法案ナルモノハ、九箇條ヨリ成立テ居リマスルモノデアリマスルガ、至極時宜ニ適シタモノデアリマシテ、又簡單明瞭ナモノデアリマスカラシテ、此案ニ付キマシテ、質問應答ヲ重ネマシタ中ニ、佐久間啓莊君及高木正年君ヨリ詳細ナル種々ノ質問應答ハアリマシタケレドモ、此法案自體ノ精神ニ向テノ質問應答ト云フモノハ、更ニゴザイマス、又之ニ對シテ少シモ異議ヲ挾ムコトハナイデアリマス、ソレデ第三回ノ委員會ヲ重ネマシテ、滿場一致ヲ以テ此法案ニ賛成スルコトニ可決致シマシタ、此段御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイモノト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定アランコトヲ望ミマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

國有財産整理資金特別會計法案

第二讀會(確定讀)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、本案ハ委員

長報告通り可決確定致シマタ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急勅諭ヲ提出致シマス、即チ茲ニ議長發議ニ關スル議員三木武吉君、議員木槍三四郎君、並ニ議員中野寅吉君ノ懲罰事犯ヲ議題トシ、懲罰委員長ノ報告ヲ求メ、且其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、直ニ審議ニ移リマス懲罰事犯ノ議事ハ秘密會デアリマスカラ、傍聽人ノ退場ヲ命ジマス

三木武吉君木槍三四郎君中野寅吉君懲罰事犯ノ件

〔午後四時五十二分秘密會ニ入ル〕

○議長(奥繁三郎君) 只今懲罰事犯事件ノ秘密會議ノ決議ニ基キマシテ茲ニ宣言致シマス、議員三木武吉君ニ對シテ議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ二週間ノ出席ヲ停止ス、議員木槍三四郎君ニ對シテ議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ二週間ノ出席ヲ停止ス、議員中野寅吉君ニ對シテ議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ二週間ノ出席ヲ停止ス

〔午後六時三十五分秘密會ヲ終ル〕

○議長(奥繁三郎君) 只今懲罰事犯事件ノ秘密會議ノ決議ニ基キマシテ茲ニ宣言致シマス、議員三木武吉君ニ對シテ議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ二週間ノ出席ヲ停止ス、議員木槍三四郎君ニ對シテ議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ二週間ノ出席ヲ停止ス、議員中野寅吉君ニ對シテ議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ二週間ノ出席ヲ停止ス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ殘餘ノ日程ハ延期サレマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時三十八分散會

衆議院議事速記第十一號中正誤

頁 段 行 誤 正

一九七 上 二二 第一讀會ノ 行 正

衆議院議事速記第十二號中正誤

頁 段 行 誤 正

二〇四 上 二九 淺川上田市間 淺川上田間